



国立公園満喫プロジェクト

# 伊勢志摩国立公園

## ステップアッププログラム 2030 (案)



令和 8 年 3 月〇日策定

伊勢志摩国立公園地域協議会

## 目次

はじめに.....	1
1. 現状分析.....	2
(1) 伊勢志摩国立公園について.....	2
1) 伊勢志摩国立公園の概要.....	2
2) 利用状況.....	2
(2) SUP2025 の取組状況.....	11
(3) 現状の課題.....	18
2. 伊勢志摩国立公園のコンセプトとビジョン.....	20
(1) 伊勢志摩国立公園のコンセプト.....	20
(2) 伊勢志摩国立公園ビジョン.....	20
3. SUP2030 の目標と基本方針.....	22
(1) 目標.....	22
(2) 基本方針.....	22
(3) ターゲット.....	24
4. アウトカム指標・アウトプット指標.....	26
5. プロジェクトの実施.....	28
(1) 重点施策・集中的に取り組む事項.....	28
1) 多様な人にとって価値のある国立公園の創出.....	28
2) 深掘りした価値のエコツーリズムの推進.....	28
3) 広域連携 -受入体制-.....	29
4) 広域連携 -プロモーション-.....	29
5) 指定 100 周年に向けた目標の設定と予算の確保.....	29
6) 地域特性を生かした「伊勢志摩モデル」の評価指標構築.....	30
(2) プロジェクト実施案.....	30
1) 多様な人にとって価値のある国立公園の創出.....	30
2) 深掘りした価値のエコツーリズムの推進.....	31
3) 広域連携 -受入体制-.....	31
4) 広域連携 -プロモーション-.....	31
6. 効果検証.....	32
伊勢志摩国立公園地域協議会設置要綱.....	34

## はじめに

平成 28 (2016) 年 3 月、政府は「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、この中で国立公園は世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化し、2020 年までに、訪日外国人の国立公園利用者数を 2015 年の 490 万人から 1000 万人に増加するという目標が掲げられました。

この目標の達成に向けて環境省は「国立公園満喫プロジェクト」を展開することとし、2016 年 7 月、伊勢志摩国立公園は、全国の国立公園の中で先導的・集中的な取組を実施する国立公園の一つに選定されました。国立公園満喫プロジェクトの趣旨は、国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図ることです。そのためには、国立公園の魅力・ブランド力を更に向上させていくとともに、国内外の利用者が国立公園を満喫できる環境を整えることが必要です。

伊勢志摩国立公園では、このプロジェクトを推進するため、伊勢志摩国立公園地域協議会を設立し、計画期間を 5 年間とする行動計画「ステップアッププログラム (以下、「SUP」という。2016 年：SUP2020、2021 年：SUP2025)」を策定し、地域主体による官民一体となった取組を展開してきました。

SUP2025 は、2020 年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外の利用者数が大幅に減少していたことを踏まえ、同ウイルスの影響前の国内外利用者の復活を目指して取り組み、伊勢志摩国立公園においても、2024 年の訪日外国人利用者数は 2019 年の 7.1 万人を上回って 9.4 万人となり、数値目標は達成しました。

2026 年 11 月 20 日には伊勢志摩国立公園指定 80 周年を迎えます。これを機に、2024 年 3 月、伊勢志摩国立公園の 10 年後・20 年後の将来像、目指すべきゴールとして「伊勢志摩国立公園ビジョン」を策定しました。本 SUP2030 は、これまでの取組や現状を踏まえるとともに、「伊勢志摩国立公園ビジョン」実現のための行動計画として策定します。計画期間は 2026 年度から 2030 年度までの 5 年間としますが、指定 90 周年・100 周年を見据え中長期的視点も取り入れた計画とします。引き続き地域主体による官民一体となった取組を、より一層進めていきます。



伊勢志摩国立公園指定 80 周年記念事業 PR 大使

ラッコのメイちゃん

# 1. 現状分析

## (1)伊勢志摩国立公園について

### 1)伊勢志摩国立公園の概要

伊勢志摩国立公園は、紀伊半島の東端に突出した志摩半島の大部分を占め、東西約50km、南北約40kmにわたる区域を有しています。公園区域の約96%が民有地であり、多くが地域住民の生活圏と重なっています。

三重県の中央部に位置する志摩半島に広がる伊勢志摩国立公園はおおよそ2つのエリアからなり、1つは、伊勢神宮とその背後に広がる豊かな森林環境を有する内陸部のエリア、もう1つは、複雑に入り組んだリアス海岸と多島景観が展開する海沿いのエリアです。

伊勢神宮とその背後に広がる豊かな森林環境を中心とした内陸部は、なだらかな丘陵地で構成されており、最高峰の朝熊山をはじめ、横山、龍仙山、局ヶ頂などからは優れた眺望を楽しむことができます。森林植生については、二次林や人工林が広がる一方で、神宮の宮域林や南伊勢地域には常緑広葉樹を中心とした自然林も残されています。

沿岸部は複雑に入り組んだリアス海岸が特徴で、英虞湾、的矢湾、五ヶ所湾などの入り江や、神島、答志島、菅島など大小多数の島々が織りなす優美な景観が広がります。五ヶ所湾から西側の熊野灘に面する海岸は、山が迫る懸崖となっており、海食崖や海食洞などの特殊な地形が点在する豪壮な景観を形成しています。また、内湾の一部には発達した干潟や、アカウミガメが産卵に訪れる砂浜も存在し、優れた海域景観と豊富な海産資源を有しています。

内陸部は「里山」を内包し、海沿いには「里海」が広がっており、農業、林業、漁業など、人の営みと密接に関わりながら、その生態系が維持されてきた場所となっています。

また、伊勢神宮をはじめ、朝熊山の金剛證寺、二見浦の二見興玉神社、青峯山の正福寺など、古くから信仰の対象となってきた歴史的建造物や伝統文化と自然が織りなす人文景観も本公園の特色です。

京阪神や中京圏からの交通アクセスは良好で、伊勢神宮への参拝のほか、水族館、大規模遊戯施設の利用等を対象とする観光の利用は多いですが、リアス海岸等の風景鑑賞、ハイキングや海でのアクティビティ、歴史や文化、食の体験など、自然を土台とした多様な目的での利用が大きな魅力です。そして本地域が大切に受け継いできた、自然とともにある、歴史や文化、食などの幅広い資源を活用して、先進的にエコツーリズムを推進してきています。これまでのプロジェクトを通して宿泊施設、展望台、園地などの利用施設も充実しており、富裕層をターゲットにした宿泊施設も多く存在しています。

### 2)利用状況

伊勢志摩国立公園では、SUP2025の数値目標に基づき、観光施策の進捗管理を行ってきました。2023年には利用者数が788万人に達し、2025年の目標を前倒しで達成しました。訪日外国人利用者数や滞在日数は増加傾向にあり、滞在型観光の定着が進んでいます。

一方で、宿泊者数全体や訪日外国人宿泊者数の伸びは目標に対して未達であり、広域誘客やインバウンド対応の強化が今後の課題となっています。再訪率は増加しているものの、満足度や友人・知人への推奨意向はむしろ低下しており、国立公園の利用の促進にはさらなる工夫が必要です。

◆伊勢志摩国立公園における指標データ

	指標	2019年時点	2020年時点	2021年時点	2022年時点	2023年時点	2024年時点	達成率	2025年目標値	備考
1	共通 利用者数	786万人	576万人	472万人	694万人	<b>788万人</b>	-	<b>100.3%</b>	786万人	目標7.1万人 越えを達成
		訪日外国人 7.1万人	※1	※1	※1	6.7万人	<b>9.4万人</b>	<b>132.4%</b>	7.1万人	
2	宿泊客延数	訪日外国人 8.9万人	2.1万人	0.1万人	0.7万人	5.3万人	<b>5.6万人</b>	<b>62.9%</b>	8.9万人	公園別・国立公園区域内
		日本人 287.7万人	209.0万人	194.5万人	255.6万人	262.2万人	<b>278.3万人</b>	<b>99.9%</b>	287.7万人	公園別・国立公園区域内
3	1人当たりの支出額	訪日外国人 90,628円	※2	※2	※3	61,623円	<b>190,724円</b>	<b>210.4%</b>	90,628円	
		日本人 32,942円	※2	※2	34,933円	32,101円	<b>48,972円</b>	<b>148.7%</b>	32,942円	
4	滞在日数	訪日外国人 1.8泊	※2	※2	※3	0.4泊	<b>3.1泊</b>	<b>172.2%</b>	1.8泊	国立公園内宿泊数
		日本人 1.2泊	※2	※2	2.3泊	1.2泊	<b>1.2泊</b>	<b>100%</b>	1.2泊	同上
5	満足度	訪日外国人 49.4%	※2	※2	※3	40.8%	<b>26.3%</b>	<b>53.2%</b>	49.40%	「稼働の選択回答のうち「1.大変満足」の割合
		日本人 28.7%	※2	※2	22.5%	25.8%	<b>24.2%</b>	<b>84.3%</b>	28.70%	同上
6	個別 再訪率(2回以上)	訪日外国人 15.5%	※2	※2	※3	18.4%	<b>71.1%</b>	<b>458.7%</b>	15.50%	
		日本人 57.7%	※2	※2	74.5%	68.5%	<b>71.9%</b>	<b>124.6%</b>	57.70%	
参考	友人・知人への推奨意向	訪日外国人 90.0%	※2	※2	※3	81.6%	<b>89.5%</b>	<b>99.4%</b>	-	
		日本人 86.5%	※2	※2	65.1%	64.3%	<b>61.7%</b>	<b>68.9%</b>	-	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により入国が制限され、推計に用いている観光庁「訪日外国人消費動向調査」に中止期間があり年間人数の算出不可

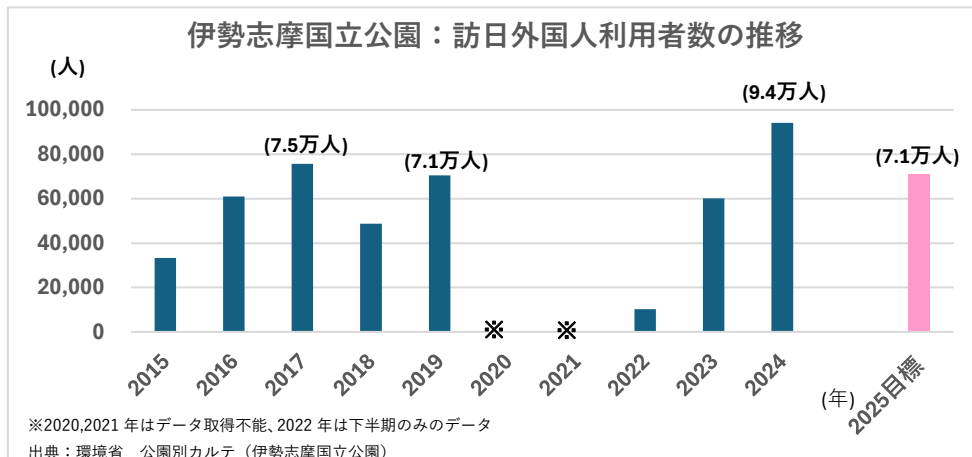
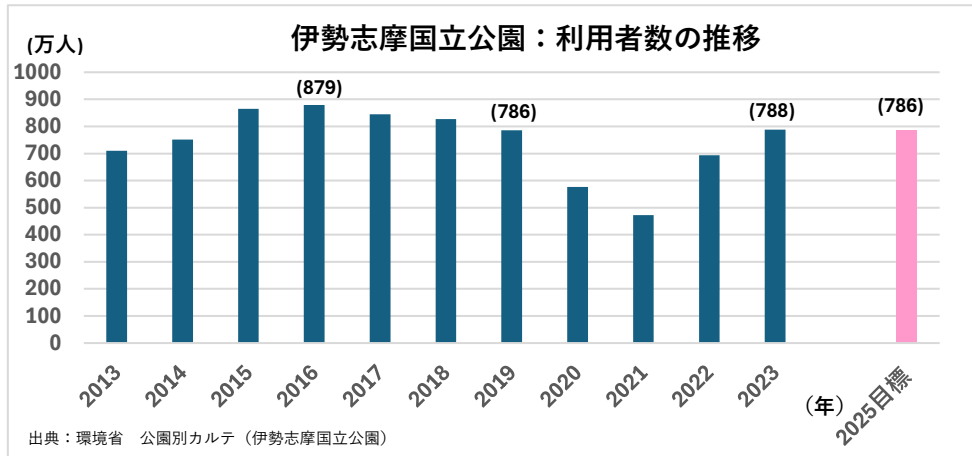
※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少したため調査中止

※3 訪日外国人については訪日旅行の再開状況を鑑み回答数は確保が困難と見込まれたことから、過年度業務まで実施していた手法の改良検討を主目的にアジア・欧米豪計 12カ国・地域を対象とした Web アンケートパネル調査を実施。日本人利用者対象の調査と同じ内容を把握するのに十分なサンプルが得られない公園もみられた。

【出典：環境省データ】

## 2)-① 2025年までの量的な目標の達成状況

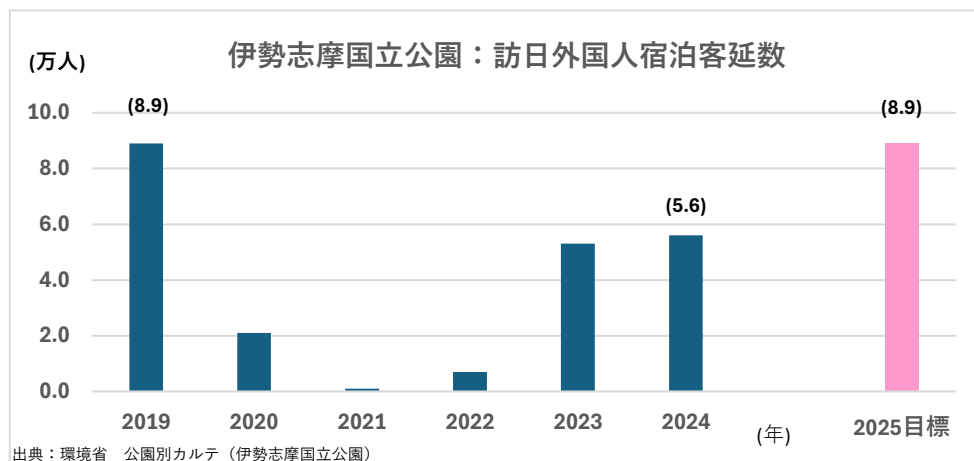
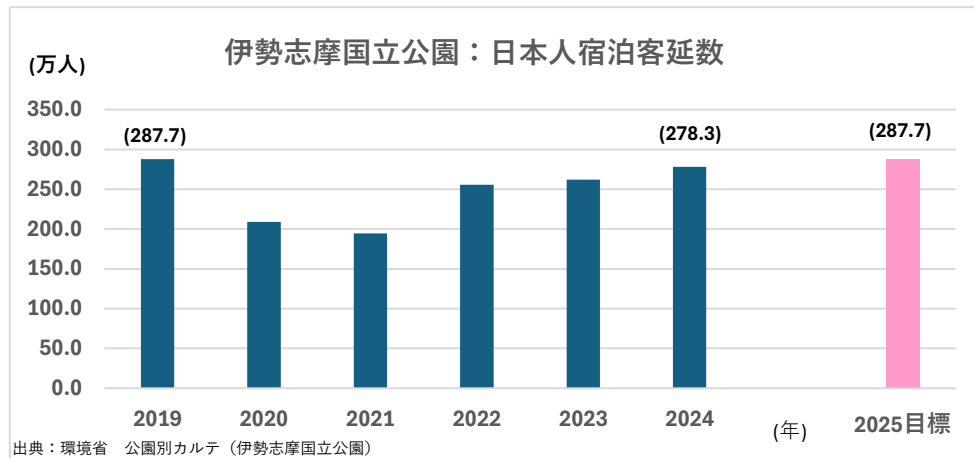
### (1) 利用者数



伊勢志摩国立公園の年間利用者数は2023年に788万人となり、2025年の目標であった新型コロナウイルス感染症拡大前の786万人をわずかに上回りました。また、訪日外国人利用者数についても、2024年に9.4万人に達し、2025年の目標である7.1万人を超えて、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準に回復しました。訪日外国人利用者は2024年時点で2025年目標値を32.4%上回る結果となりましたが、当国立公園の訪日外国人比率は2023年で0.8%（2023年）と依然として低く目標達成をもって楽観視できる状況ではありません。

\*（参考）全国立公園の訪日外国人利用者数の比率 平均 17.7%（2023年）

## (2) 宿泊客延数

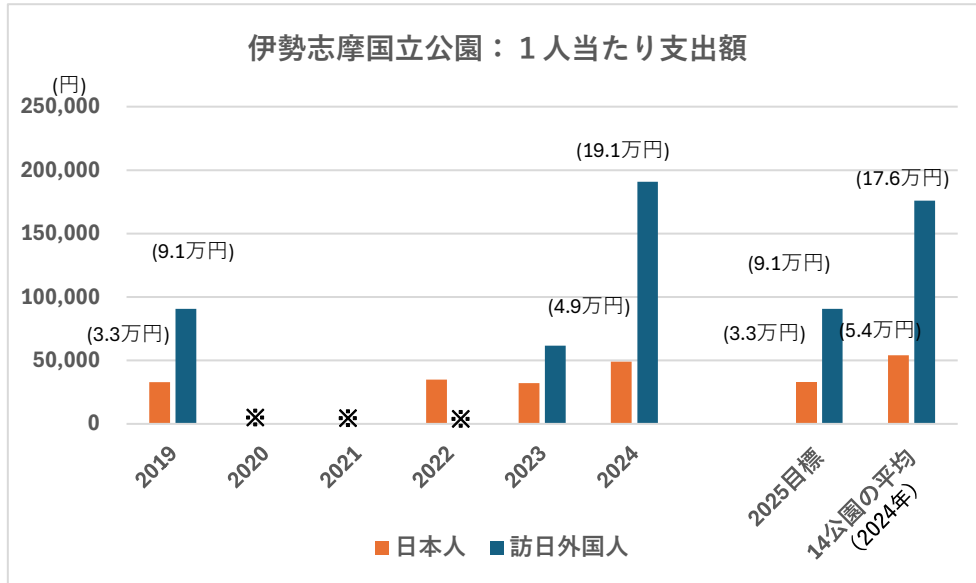


宿泊客延数（2024年）は、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準まで回復していません。とくに訪日外国人の宿泊客延数は、2019年比で63%の水準にとどまっており（2024年時点）、十分に戻っているとは言えません。つまり、当国立公園を訪れる訪日外国人の多くが日帰りで訪れている状況が続いていることとなります。

また、訪日外国人旅行者の宿泊客延数に関しては、全国平均では全宿泊数の約25%を占めているのに対し、当公園では約2%にとどまっており、利用者構成に大きな乖離が生じています。一方で、後述のアンケート結果では、調査対象14公園<sup>1</sup>の中で推奨意向が2位、滞在・宿泊日数およびリピート率が1位となっており、当公園を訪れた訪日外国人からの評価は総じて高いと考えられます。これらのデータを踏まえると、訪日外国人の宿泊客延数を増加させるための具体的な対応策を検討する必要があります。

<sup>1</sup> 阿寒摩周、支笏洞爺、十和田八幡平、三陸復興、磐梯朝日、日光、富士箱根伊豆、中部山岳、伊勢志摩、大山隠岐、阿蘇くじゅう、霧島錦江湾、慶良間諸島、やんばるの各国立公園

### (3) 支出額



※2020,2021年はデータ取得不能、2022年は訪日外国人のデータ取得不能

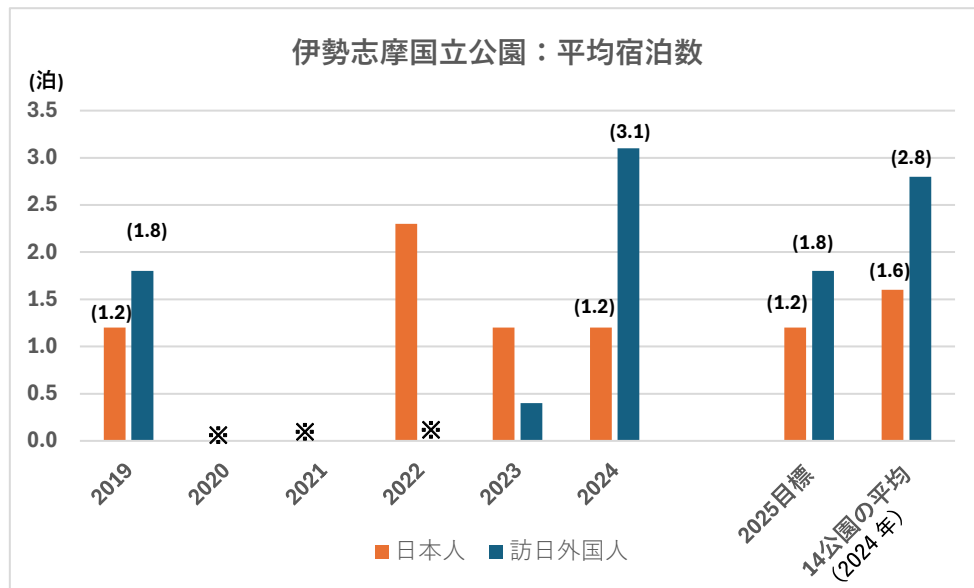
出典：環境省 公園別カルテ（伊勢志摩国立公園）

伊勢志摩国立公園の一人当たり支出額（2024年）は、日本人が48,972円となっており、14公園の平均である54,197円を下回り、順位も14公園中6位となっています。一方、訪日外国人の一人当たり支出額は190,724円で、平均値（175,847円）を上回っていますが、こちらも順位は6位にとどまっています。

訪日外国人の支出額について、2024年はどの公園でも増加傾向にあり、14公園平均では対2023年比177%増となっています。これは、新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況が落ち着き、訪日外国人が「じっくり滞在する旅行」を志向するようになったことに加え、円安が追い風となった結果であると考えられます。

また、訪日外国人は日本人に比べて滞在日数が長くなる傾向があり、その分一人当たり支出額が増えると推測されます。さらに、宿泊費以外の支出割合が高いという報告もあり、体験型コンテンツや飲食、交通など、地域経済への波及効果が大きくなると考えます。

#### (4) 平均宿泊数



※2020,2021年はデータ取得不能、2022年は訪日外国人のデータ取得不能

出典：環境省 公園別カルテ（伊勢志摩国立公園）

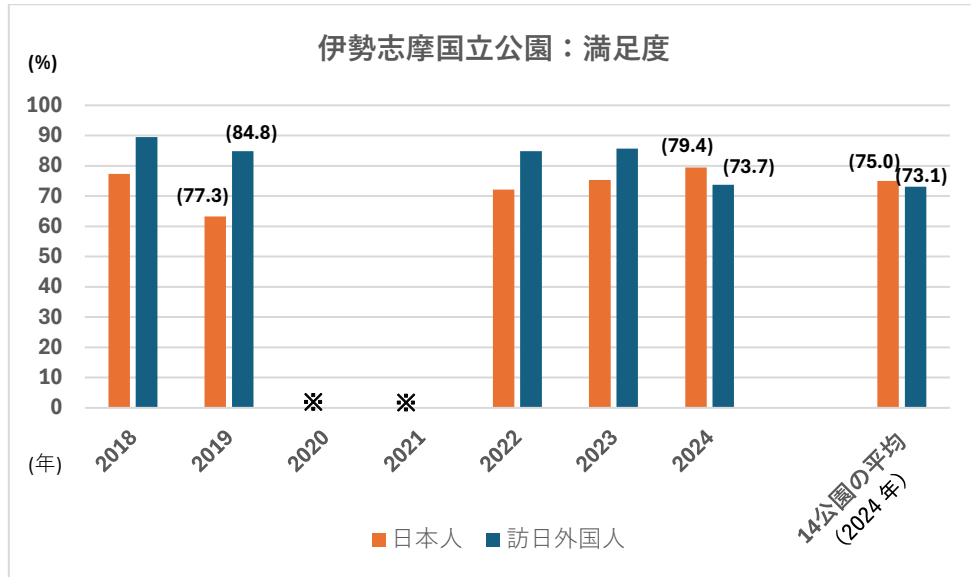
伊勢志摩国立公園の平均宿泊日数（2024年）は、日本人が1.2泊となっており、14公園の平均である1.6泊を下回り、順位も11位となっています。一方、訪日外国人の平均宿泊日数は3.13泊で、14公園平均の2.8泊を上回り、14公園中1位となりました。

当公園は名古屋や大阪といった大都市圏から比較的近いこともあり、日本人利用者は日帰り、または宿泊しても1泊にとどまるケースが多いと考えられます。一方で、訪日外国人は利用者数こそ多くないものの、滞在する場合はしっかりと腰を据えて国立公園を楽しんでいると推察されます。こうした傾向は、宿泊施設や体験コンテンツの充実によって支えられている面もあるといえるでしょう。

都市部から近いという地理的優位性は大きなメリットである一方、日本人の宿泊につながりにくいという課題も抱えています。今後は、より魅力的な体験コンテンツの提案や、国立公園内を広域的に楽しんでもいただける仕組みづくりを進めることで、日本人の宿泊数を増やしていくことが可能になると考えます。

## 2)-② 2025年までの質的な目標の達成状況

### (1) 満足度

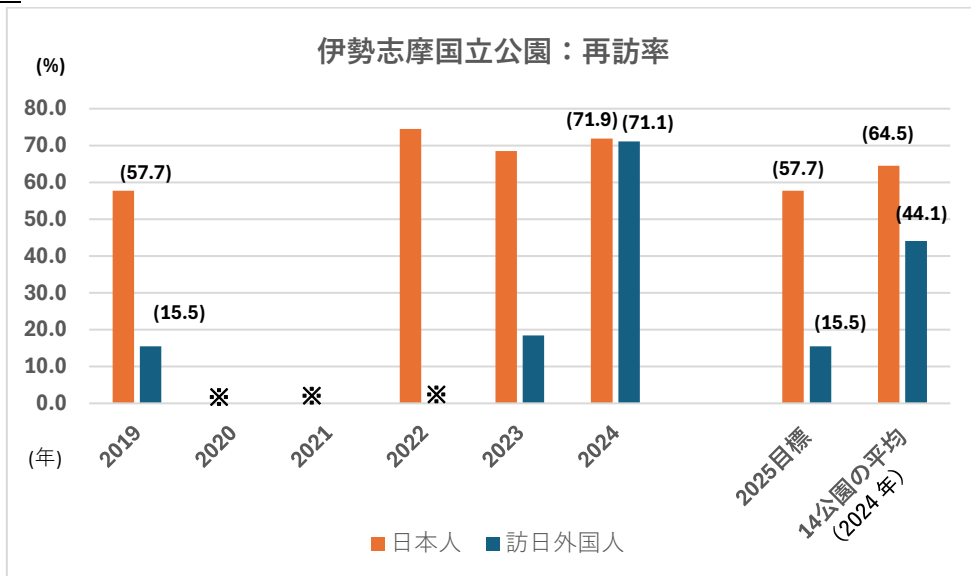


※2020,2021年はデータ取得不能

出典：環境省 公園別カルテ（伊勢志摩国立公園）

伊勢志摩国立公園における満足度調査（2024年）では、日本人利用者の満足度（「大変満足」と「満足」の合計）は79.4%となり、14公園の平均である75%を上回り、順位も3位となっています。訪日外国人についても満足度は79.4%で、14公園平均の73.1%を上回り、順位は5位でした。いずれの利用者層においても、当公園は平均を上回る評価を得ています。

### (2) 再訪率



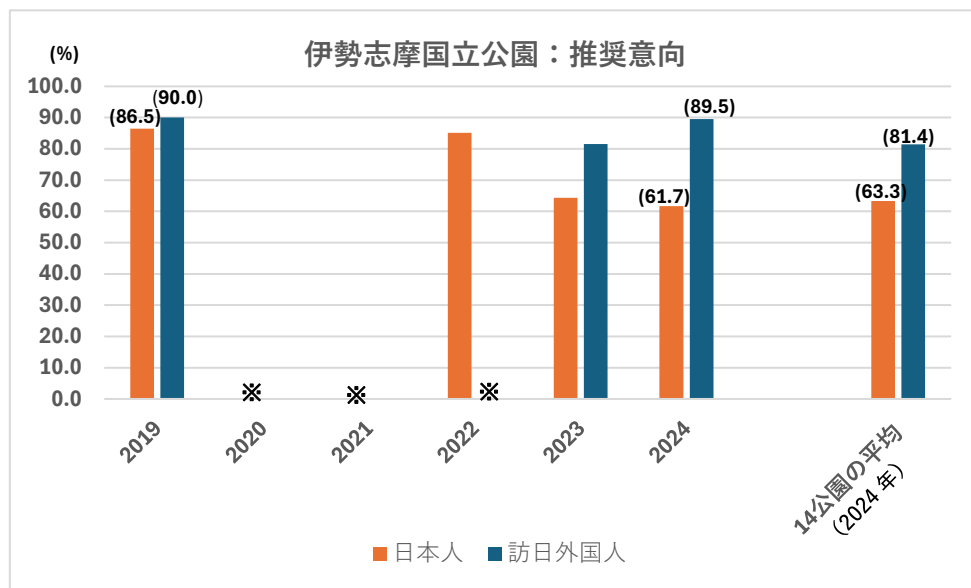
※2020,2021年はデータ取得不能、2022年は訪日外国人のデータ取得不能

出典：環境省 公園別カルテ（伊勢志摩国立公園）

伊勢志摩国立公園の再訪率（2024年）は、日本人・訪日外国人ともに高い水準となっています。日本人の再訪率は71.9%で、14公園の平均である64.5%を上回り、順位は2位でした。訪日外国人の再訪率は71.1%で、14公園平均の44.1%を大きく上回り、14公園中1位となっています。とくに訪日外国人については、2023年の18.4%から2024年には71.1%へと大幅に上昇しており、日本を訪れた多くの外国人旅行者が「また訪れたい」と感じている国立公園であることがうかがえます。

こうした高い評価は大いに評価すべき点であり、今後も日本人・訪日外国人の双方において、この高い再訪率を維持・向上させるための取組を継続していく必要があります。

### (3) 推奨意向



※2020,2021年はデータ取得不能、2022年は訪日外国人のデータ取得不能

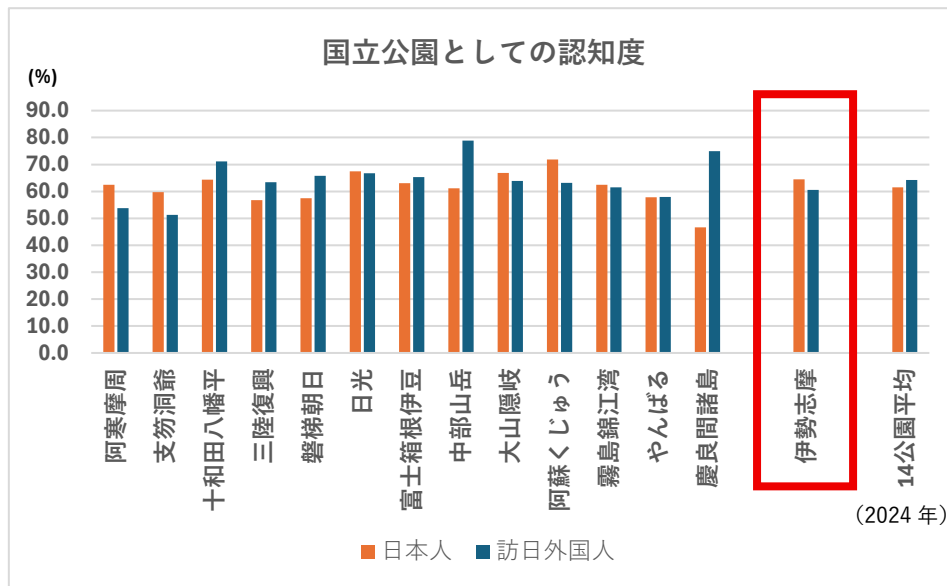
出典：環境省 公園別カルテ（伊勢志摩国立公園）

伊勢志摩国立公園における推奨意向（2024年）については、日本人では61.7%となり、14公園平均の63.3%を下回って8位という結果でした。一方、訪日外国人では89.5%と非常に高く、14公園平均の81.4%を上回り、順位も2位となっています。訪日外国人は満足度が高いだけでなく、友人・知人への推奨意向も高いことが特徴として表れています。

しかし、日本人については満足度自体は高いにもかかわらず、推奨意向が平均を下回っている点が課題といえます。この理由については、体験内容の印象、アクセスのしやすさ、地域のイメージ、情報発信の不足など、複数の要因が考えられます。

推奨意向は、質的な評価を示す重要な指標であり、地域のブランド力や口コミによる誘客にも大きく影響します。今後は、日本人・訪日外国人の双方において、推奨意向をより高い水準で維持・向上させる取組を進めていくことが求められます。

#### (4) 国立公園としての認知度



※2020,2021年はデータ取得不能、2022年は訪日外国人のデータ取得不能

出典：環境省 公園別カルテ（伊勢志摩国立公園）

伊勢志摩国立公園を訪れた人の国立公園としての認知度は、日本人・訪日外国人ともに高いとはいえません。特に訪日外国人の認知度は60.5%と14公園平均（64.2%）を下回り、14公園中11位となっています。日本人の認知度は平均を上回るものの、決して十分な水準とはいえません。

当公園の特色は、歴史・文化・人の営みと、里山・里海の自然とが織りなす人文景観にあります。こうした地域の特長を理解したうえで訪れてもらうことで、より深い魅力を感じ取ることができます。特に訪日外国人にとって伊勢神宮は、旅前にしっかりと情報を得て訪れることで、その価値や奥深さをより強く実感できる場所です。

伊勢志摩国立公園の魅力をもっと感じ取り、満足度の高い訪問者を増やすためには、訪れる場所が国立公園であること、そしてその背景にあるストーリーを旅前に伝える仕組みを強化する必要があります。また、旅前に当公園のストーリーを理解してもらうことは、訪問者の分散化や行動の多様化を促し、オーバーツーリズム対策としても有効であると考えられます。

## 2)-③ 市町単位での利用者数と宿泊者数

伊勢志摩国立公園全体の利用者数は、日本人旅行者・訪日外国人旅行者ともに、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準とほぼ同程度まで回復しています。しかし、市町単位で見ると、依然として十分に回復していない地域も存在しており、宿泊者数についても同様の傾向が見られます。

### ◆伊勢志摩国立公園における利用者数の推移（各エリア）

		2013年			2019年			2023年			2024年		
		日本人	イバ'カド'	計	日本人	イバ'カド'	計	日本人	イバ'カド'	計	日本人	イバ'カド'	計
伊勢市（伊勢神宮利 用者数）	内宮	8,808	42	8,850	6,296	74	6,370	4,791	64	4,855	4,929	85	5,014
	外宮	5,345	10	5,355	3,338	22	3,360	2,297	21	2,318	2,503	25	2,528
	小計	14,153	52	14,205	9,634	96	9,730	7,088	85	7,173	7,432	110	7,542
鳥羽市				4,786			4,236			3,909			4,154
志摩市				4,078			4,187			3,884			3,959
南伊勢町 ※1				268			271			194			
伊勢志摩国立公園 （環境省）				10,630		71	7,860		67	7,880		94	

（単位：千人）

※3 市1町のデータはそれぞれの市町の観光統計による。

※1：2023年の数字は2022年の結果。国立公園外も含む南伊勢町全域。

### ◆伊勢志摩国立公園における宿泊者数の推移（各エリア）

	2013年			2019年			2023年			2024年		
	日本人	イバ'カド'	計	日本人	イバ'カド'	計	日本人	イバ'カド'	計	日本人	イバ'カド'	計
伊勢市			608			770			838			866
鳥羽市	2,007	3.5	2,010	1,646	51	1,697	1,451	32	1,483	1,563	42	1,605
志摩市		-	1,558	1,467	48	1,515	1,373	33	1,406	1,391	33	1,424
南伊勢町 ※1			27			23			15			17
伊勢志摩国立公園（環境省）					89	2,966		53	2,675		56	2,839

（単位：千人）

※3 市1町のデータはそれぞれの市町の観光統計による。

※1：2023年の数字は2022年の結果。国立公園外も含む南伊勢町全域。

## (2) SUP2025 の取組状況

「伊勢志摩国立公園 SUP2025」では、3つの視点からなる基本方針に基づき、重点施策・集中的に取り組む事項等のプロジェクトを定め、2021年より関係機関・関係団体等の連携のもと実施しました。計画された取組のうち、重点施策・集中的に取り組む事項については、着手済の取組が70%を超え、国立公園全域にわたって多数の取組が実施されました。特に重点的取組として実施した6つのプロジェクトの取組状況について、以下に整理します。

### 【SUP2025の基本方針】

- 視点1 上質な展望環境及び快適で安全な利用環境の整備
- 視点2 観光施設の磨き上げによるストーリー性を持った質の高い自然体験等の提供
- 視点3 人々の営みと自然が織りなす優れた景観の保全

【重点的な取組①～⑥の取組状況】

**重点的な取組① ワークেশョンの推進**

新型コロナウイルス感染症の影響で観光需要は大きく落ち込みましたが、自然の中で過ごしなが  
テレワークを行うワークেশョン需要が一時的に高まり、WiFi 環境や体験プログラムの整備、住民と  
関係人口をつなぐ取組が行われました。

<代表的な取組>

- ・テレワーク環境を備えた宿泊施設と地域の魅力を活かした自然体験プログラム等を組み合わせた  
ワークেশョンプランの造成（環境省、三重県、鳥羽市、志摩市、関係事業者）
- ・「働く」、「泊まる」、「遊ぶ」を一体とした新しい働き方の創出（三重県、鳥羽市、志摩市、関係事  
業者）
- ・Wi-Fi 環境の整備（伊勢市、志摩市、南伊勢町）
- ・体験コンテンツの整備（伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、関係事業者）

**取組紹介** ワークেশョンの推進（実施者：鳥羽市）

- 鳥羽市ではワークেশョンを含む鳥羽の関係人口の増加を  
目的として、鳥羽ファンポータルサイト『とぼる』と公式  
Facebook『とぼり隊』において住民と関係人口の交流の場を  
作成した。
- また、令和 4 年度に開設した三重県鳥羽市の短期就労プラ  
ン紹介サイト『ワーキングホリデー at 鳥羽』を活用し、“国  
立公園で暮らしながら働く”をテーマに情報発信の強化を  
行った。





## 重点的な取組② 交通アクセス等の充実

伊勢神宮周辺の渋滞対策としてパーク＆バスライドやバス専用レーン、臨時駐車場の整備などが進められました。また、志摩市の「ぐるっと志摩周遊支援事業」などは、今後の二次交通改善の可能性を示す取組となっています。

<代表的な取組>

- ・ 空港等の交通拠点から伊勢志摩地域の主要交通拠点までのアクセス方法の充実（交通事業者）
- ・ タッチ決済サービスの導入（交通事業者）
- ・ ぐるっと志摩周遊支援事業（志摩市）
- ・ 自転車を安全で快適に利用できる環境づくりを推進（三重県）
- ・ 大型クルーズ船の受入環境の充実（鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会）
- ・ 繁忙期のパーク＆バスライド（シャトルバス運行）（伊勢市）
- ・ 繁忙期のパーク＆シップライド（鳥羽市観光交通対策協議会）

取組紹介	繁忙期のパーク＆バスライド（シャトルバス運行）について（実施者：伊勢市）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 伊勢神宮へ向かう車両による交通渋滞を緩和するため、パーク＆バスライド等の実施、バス専用レーンの設置、ホームページ等による情報提供を実施。</li> <li>➤ R8年初参り期間においてP&amp;BR実施。約65台/日のシャトルバスが運行。計4日間(1/1~1/4)で14,592台(約4.8万人)が三重県営サンアリーナのP&amp;BRを利用。伊勢神宮内宮周辺の渋滞軽減に寄与した。</li> </ul>		 <p>【国道22号のバス専用レーンの状況】</p>
		

取組紹介	ぐるっと志摩周遊支援事業について（実施者：志摩市）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 公共交通が行き届いていない主要スポットへの効率的な移動手段の確立。</li> <li>➤ 観光案内付きバスを運行することで、移動時間の観光コンテツ化による観光案の周遊性・満足度・観光消費額の向上を図る。</li> </ul>		
	▲横山 VIEW タクシー	▲しまーる号（周遊バス）

### 重点的な取組③ 拠点施設の機能強化

拠点施設において、職員の対応能力の強化、多言語対応、ユニバーサルデザイン化など快適な利用環境を整備しました。

<代表的な取組>

- ・ 宿泊施設や観光施設、公衆トイレ等のユニバーサルデザイン化（三重県、伊勢市、鳥羽市、南伊勢町）
- ・ 伊勢志摩バリアフリーツアーセンターのHP改修（三重県）
- ・ 利便性・安全性の向上（バリアフリー対応）（三重県観光部）
- ・ 安乗崎灯台資料館館内リニューアル（志摩市）
- ・ 「創造の森 横山」における遊歩道改修（三重県、志摩市）
- ・ 上質な展望環境の整備（環境省、三重県、各市町）
- ・ 桐垣展望台の転落防止柵の改修（三重県）
- ・ 国立公園リーフレットの多言語化（環境省）
- ・ 観光案内所等の受け入れ体制強化（各市町、各市町観光協会、伊勢志摩観光コンベンション機構）
- ・ 看板整備と看板の多言語化（三重県、伊勢市）
- ・ 横山ビジターセンターの展示改修（デジタル展示の整備、展示・パンフレットの多言語化）

#### 取組紹介

#### 横山ビジターセンターの改修（実施者：環境省）

- 公園内の自然や人の営みについて分かりやすく解説するデジタル展示を整備。
- 環境配慮型の受入環境づくりを進めるため、プラスチックごみの削減を目的としたマイボトル利用の推進として給水機を設置。



▲デジタル展示（4面シアター）



▲給水機

## 重点的な取組④ 景観改善

展望地等において眺望を阻害している樹木の伐採、景観や利用環境を阻害している海岸ゴミの清掃等を行いました。

<代表的な取組>

- ・ 漁村・海女集落地区等の重点地区指定に向けた漁村地域への働きかけ（鳥羽市）
- ・ 各展望台の景観改善（環境省、三重県、各市町）
- ・ 既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業（観光庁事業）（国土交通省）
- ・ 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業（観光庁事業）（国土交通省）
- ・ 三重県屋外広告物条例に基づく違反屋外広告物の是正指導（三重県）
- ・ 電線類の地中埋設化（三重県、伊勢市）
- ・ 空家対策（三重県、各市町）
- ・ 海岸ゴミ清掃（環境省、三重県、各市町）

### 取組紹介

各展望台における通景伐採（実施者：南伊勢町）

- 自然環境を訴求する拠点の一つとして、各展望台（見江島展望台、たちばな展望台、南海展望台、中ノ磯展望台）の景観維持のための草刈り・枝払いの実施。
- 環境省 伊勢志摩国立公園事務所事業による修景伐採事業（R6 実施）による景観維持となる魅力の向上。



▲見江島（みえしま）展望台

## 重点的な取組⑤ エコツーリズムの推進

伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会にて策定された「伊勢志摩国立公園自然体験促進計画」に基づき、地域全体でエコツーリズムに取り組むことで、より質の高いコンテンツの提供や、ガイドの育成を行いました。

<代表的な取組>

- ・伊勢おもてなしヘルパーサービス拡充の取組を実施（伊勢市）
- ・大型客船の寄港対応を実施し、消費拡大と乗船客の満足度を向上（鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会）
- ・新たなツアー造成や英語のガイド講習の実施（鳥羽市、民間事業者）
- ・エコツアーカフェ（鳥羽市）
- ・登山を起点として環境整備の拡充（南伊勢町）
- ・「巨大マグロと泳ぐ」体験ツアー（南伊勢町）
- ・Happy Birthday! 伊勢志摩国立公園イベントの開催（伊勢志摩国立公園協会）
- ・持続可能で質の高いプログラム提供を面的に強化するための研修会やセミナー等の開催（伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会）
- ・横山ビジターセンター自然観察会の実施（環境省、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会）
- ・アンペライを利用した草履作りと販売（環境省、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会）

### 取組紹介

伊勢志摩国立公園バリアフリーアドベンチャートラベル展開事業  
(実施者：伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会)

- 伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会では、令和6年度環境省 国立公園アドベンチャートラベル展開事業を活用し、「伊勢志摩国立公園バリアフリーアドベンチャートラベル展開事業」を実施した。
- 本国立公園がターゲットとする欧米の富裕層にはシニア層が多いことを踏まえ、比較的高単価のバリアフリーATプログラムの提供に向けた取組を実施した。



▲鯛の絶景ツアー 4感バージョン

## 重点的な取組⑥ 国立公園への誘導・プロモーション

SNS や海外メディアを活用した情報発信、旅行博への出展、旅行会社との商談会など国内外に向けたプロモーションを実施しました。

<代表的な取組>

- ・「ワーキングホリデーat 鳥羽」を活用し、情報発信の強化（鳥羽市）
- ・SNS、動画配信サービス等を効果的に活用した情報発信（伊勢志摩観光コンベンション機構、南伊勢町）
- ・地域観光魅力向上事業（観光庁事業）（国土交通省）
- ・広域周遊促進のための観光地域支援事業（観光庁事業）（国土交通省）
- ・アドベンチャートラベル事業で造成したコンテンツの SNS による情報発信（伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会）
- ・伊勢志摩エリアへの誘客を促す交通広告の展開（交通事業者）
- ・ライフスタイル雑誌へのタイアップ記事の掲載（三重県）
- ・海外 OTA の活用や JNTO との連携（三重県）
- ・SNS やテレビ等のメディアを通じた情報発信（三重県）
- ・インフルエンサー、メディア等を招聘したファミトリップを実施（環境省、伊勢志摩観光コンベンション機構）

取組紹介	SNS やプロモーション（実施者：各団体）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 三重県や横山 VC の公式 Instagram、公園管理事務所 Youtube 等で情報発信。</li> <li>➤ 飲食店や宿泊施設に国立公園を理解し、観光客への説明に活用してもらうためのガイドブックを配布（R3）</li> <li>➤ 3市1町それぞれで SNS による情報発信を強化。特に南伊勢町のInstagramのフォロワー数は人口を超える11,500人となり、Meta 公式ホームページに『政府機関や非営利団体の成功事例』として掲載された（R7）</li> </ul>	 <p>▲知りたい！伝えたい！ 私たちの伊勢志摩国立公園</p>	 <p>▲Meta に掲載</p>

### (3)現状の課題

2024年度に実施した地域協議会構成員およびアドバイザーへのアンケートでは、過去10～20年を振り返り、良い結果が得られたと評価された取組として、以下の項目が挙げられました。

- ・エコツーリズムの推進
- ・利用拠点施設の機能強化・充実
- ・海女文化の保存・継承
- ・広域連携の取組
- ・景観改善

これらの取組は、SUP2030においても引き続き推進していく必要があると考えられます。

一方、同アンケートで過去10～20年の満足度を尋ねたところ、自然資源の状態、人文資源の状態、観光施設・宿泊施設、運輸交通関係、事前文化資源の利用状況のいずれにおいても、「満足」と「やや満足」の合計が50%に届きませんでした。特に、人文資源の状態と運輸交通関係については満足度が低い結果となりました。

これらの結果を踏まえ、2025年度に実施した地域協議会の会合および構成員へのヒアリングでは、当公園の課題として以下の点が挙げられました。

#### ◆自然資源に関する課題

- ・藻場の保護・再生は、当公園における最重要の自然環境課題である。
- ・磯焼けや温暖化などにより海域環境が悪化しており、対策が急務である。

#### ◆人文資源に関する課題

- ・高齢化や人口減少に伴う後継者不足により、祭りや海女文化などの伝統文化の継承が危機に瀕している。
- ・若者の地元離れが進む中、地域に根差した人材育成と定着、幼少期の自然体験や地元学の導入による価値認識の醸成が課題である。

#### ◆受入体制・施設に関する課題

- ・地域住民でさえ伊勢志摩国立公園の価値を十分に理解しておらず、来訪者に自然・文化資源を伝える意識が弱いことから、認知度向上が課題である。
- ・自然や文化の本質的な魅力を伝える仕組みが不足しており、観光との連携も弱い。
- ・体験型コンテンツに関しては、参加者数や経済効果を把握する仕組みが未整備である。
- ・行政と民間が連携し、実効性のある体験プログラムを構築することが求められる。
- ・インバウンド対応は他地域に比べて遅れており、受入に抵抗感を持つ事業者も存在する。
- ・ノウハウ不足、体験メニューの少なさ、通訳不足など、ソフト面の課題も大きい。
- ・伊勢参宮の多くが日帰りであるため、いかに南部地域へ周遊を促すかが課題である。
- ・施設の老朽化が進んでおり、展望施設などの改修が急務である。
- ・式年遷宮を控え、将来的なオーバーツーリズムを未然に防止する対策が必要である。

#### ◆二次交通・アクセスに関する課題

- バスドライバー不足や夕方・夜間のタクシー不足が深刻である。
- ジャパンレールパス等を含む交通体系の改善が求められる。
- 二次交通が存在しないアクセス困難地域が多く、地域全体の周遊性確保が課題である。
- 公共交通と観光向け二次交通のすみわけも検討すべき課題である。
- 夜間コンテンツや移動手段の不足も地域の魅力発信を妨げている。

#### ◆SUP に関して（国立公園運営の評価と改善）

- 伊勢志摩国立公園のパフォーマンスを評価する指標や目標数値を設定する必要がある。
- 取組を段階的にステップアップさせる仕組みづくりが求められる。

#### 【総合的な課題認識と方向性】

- 伊勢志摩国立公園の上質な発展に向けては、効果的なプロモーションを実行し、公園全体の人の流れを創出しながら地域資源の活用を促進する取組が求められる。
- 指定 100 周年を見据え、将来どのような国立公園を目指すのかという課題に継続的に取り組む必要がある。
- また、地域住民が国立公園の価値を理解し、誇りをもって活動できるような施策を展開し、持続可能な地域づくりを進めることが重要である。
- 多様な人にとって価値のある国立公園を創出する。

民有地が約 96%を占め、人と自然が密接に関わりながら暮らし、歴史や文化を育んできた伊勢志摩国立公園ならではの課題として、人文資源に関する意見が特に多く寄せられました。これらの課題は、公園の特性を踏まえたうえで、優先的に取り組むべき重要なテーマであるといえます。

## 2. 伊勢志摩国立公園のコンセプトとビジョン

### (1)伊勢志摩国立公園のコンセプト

#### 悠久の歴史を刻む伊勢神宮 人々の営みと自然が織りなす里山里海

#### (コンセプトの解説)

伊勢志摩国立公園に位置する伊勢神宮では、1300年に及ぶ<sup>しきねんせんぐう</sup>式年遷宮の歴史があり、<sup>きゅういきりん</sup>宮域林を管理しながら<sup>せんぐう</sup>遷宮に必要な材を確保するとともに、20年に一度、社殿を新しく建て替え、奉納する御装束神宝を新しく作り替えることで、常にみずみずしい姿を保つとともに、自然に根ざした伝統・技術の保存・伝承が図られてきました。また、3000年の歴史を持つともいわれる海女漁や、リアス海岸と養殖筏の景観に代表されるように、自然の恩恵を深く理解し、自然と調和した営みの中で育まれた里山里海の景観が伊勢志摩国立公園の最大の魅力です。

### (2)伊勢志摩国立公園ビジョン

#### つなげるわ、ひろげるわ 未来につなごう伊勢志摩国立公園

「私（個性）」「輪（つながり）」「和（調和）」の三つの「わ」が重なり合い、新たな未来を創る姿を表現しました。

#### 1. 私が輝く

住む人も訪れる人も、一人ひとりが輝き、周囲を尊重しながら挑戦し成長する国立公園を目指します。「私らしさ」が調和の中で最大限に発揮される国立公園を目指します。

#### 2. 人と自然の輪がつながる

人々をつなぎ、人と自然が共に生きる喜びの「輪」を広げます。自然への敬意を忘れず、共存する意識を高めます。多様な人と自然の交流により希望ある未来を創造する国立公園を目指します。

#### 3. 地域の誇りと和が育まれる

受け継がれる文化、自然、歴史を大切に守り、地域一体となって未来へと伝えます。「変わらずに、変わり続ける」精神を基盤に、「心がかえりたい」国立公園を目指します。

### ○伊勢志摩国立公園ビジョンとは？

- 伊勢志摩国立公園の10年後・20年後の将来像。目指すべきゴール。未来のあるべき姿。
- 伊勢志摩国立公園の方向性を決定づけるもの。
- 具体的には、どのような状態を実現したいのか、どんな価値を提供したいのかを明確にするもの。
- 伊勢志摩国立公園に関わる全ての人が、共通の目標に向かって進むための指針、意思決定の基盤となります。

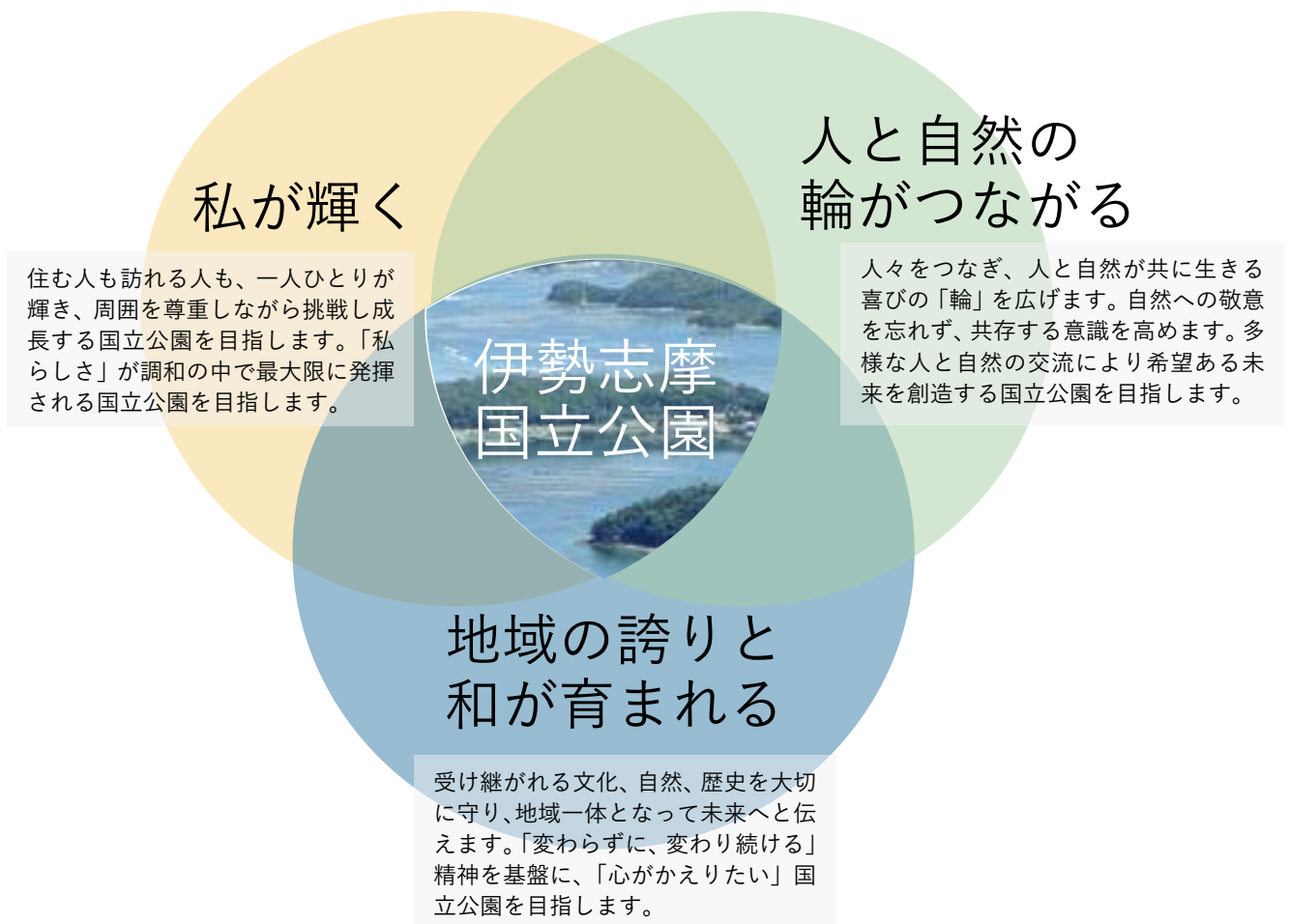
## ○～伊勢志摩国立公園ビジョンに込められたビジョン検討メンバーの想い～

「わが」には「私の」という意味があります。そこから、「私」だけでなく他の人も尊重し、「わが」が2つにつながって共に輝く「わがわが」にしようという希望と覚悟の気持ちを、このビジョンに込めました。

## ○「伊勢志摩国立公園ビジョン」決定の経緯

伊勢志摩国立公園は、表情豊かな海岸地形と常緑広葉樹の森、そして、自然と人がともに生きる文化が魅力の、志摩半島一帯に広がる国立公園です。我が国において13番目、戦後すぐに国立公園に指定され、令和8年には指定80周年を迎えます。そこで、指定90・100周年を見据え、伊勢志摩の未来を考え各分野で取組を行っており、伊勢志摩の10年・20年後を担う方々に検討に加わっていただき、令和7年3月、伊勢志摩国立公園の目指すべき将来像としてこの「伊勢志摩国立公園ビジョン」を策定しました。

本 SUP2030 は、当該ビジョンを実現するための行動計画です。ビジョンの実現を目指し、SUP2030 をもとに取組を展開していきます。伊勢志摩国立公園に関わる全ての方々が、私たちとともにこの「伊勢志摩国立公園ビジョン」の実現を目指して行動する事を期待しています。



## ▲伊勢志摩国立公園ビジョンのイメージ

## 3. SUP2030 の目標と基本方針

### (1)目標

伊勢志摩国立公園ビジョンの実現に向け、広域連携の仕組みを作り、多様な人にとって価値のある国立公園創出の土台を築きます。

### (2)基本方針

伊勢志摩国立公園の優れた景観は、自然と人との長い関わりの中で形づくられ、先人たちが大切に守り育ててきた地域の貴重な財産です。この財産を将来にわたり守り継いでいくためには、地域の人々のみならず、国内旅行者や訪日外国人を含む多くの利用者にその価値を理解し、共感してもらうことが重要です。また、伊勢志摩国立公園がもたらす価値や経済的恩恵を広く再認識してもらうことで、保全への意識を高めていく必要があります。

一方で、これまでの取組を経てもなお多くの課題が残されており、「伊勢志摩国立公園ビジョン」を実現し、さらに多くの人々が暮らす国立公園として本プログラムを地域に根付いた実効性のある計画としていくためには、地域住民の積極的な関与が不可欠です。地域住民が主体性を発揮し、国立公園に指定された市町に住んでいることに意義と誇りが持てるよう、官民が一体となって住民の意識醸成を図るとともに、伊勢志摩国立公園の価値と魅力の向上に取り組んでいく必要があります。

これらの状況を踏まえ、伊勢志摩国立公園を世界水準のナショナルパークへと発展させるため、3つの視点からなる基本方針を掲げます。

### (視点1) 短期から中長期戦略につなげる”ステップアッププログラム”

本計画を、現状の課題に即した短期的な対応とともに将来を見据えた中長期的な取組も検討、実施していくことで、ビジョンに向けて取組を積み上げる「ステップアッププログラム」として活用します。今後の国立公園指定 100 年やそれ以降の未来を見据え、プロジェクトを進めます。

### (視点2) 多様な人々と国立公園をつなぐ

国立公園は、誰もが安心して楽しむことのできる公共の場であることから、年齢、国籍、障がいの有無等を問わず、伊勢志摩地域でも誰もが国立公園を安心して楽しめる環境を整備することが重要です。また魅力をより深く、正確に伝えることで、利用者と伊勢志摩国立公園のつながりを育み、満足度の向上を図ります。

さらに、地域住民があらためて国立公園であることに誇りを持つことにより、次世代の担い手の育成や、地域に暮らし続けられる環境づくりにつながります。地域住民自身が国立公園の自然や歴史・文化に触れ、楽しむことができる環境を整えることも重要です。

そのため、ユニバーサルデザインの導入、多言語対応、地域の魅力を学ぶワークショップの開催など、包括的な環境整備を推進していきます。

### (視点3) 地域の自然や、自然と共生する文化を将来につなぐ

伊勢志摩国立公園の魅力である、地域の暮らしや文化と豊かな自然環境の調和が、将来にわたって受け継がれるよう、保全と利活用のどちらも大切にしながら、持続可能なあり方を地域とともに実践していきます。

### (3)ターゲット

SUP2030 では、従来の観光客・訪問者を中心としたターゲット設定を見直し、国立公園内で生活する人や働く人までを含めた、より広い視点でターゲットを捉えていきます。これは、鳥羽市・志摩市の全域、伊勢市と南伊勢町の約 60%が国立公園区域であり、さらに国立公園地域の約 96%が民有地であるという特性から、多くの人々が国立公園内で暮らし、日常生活を営んでいることに深く関係しています。伊勢志摩国立公園は、自然景観や伊勢神宮とその宮域林などの自然・歴史資産が重要な構成要素であると同時に、この地域で暮らす人々とその営みそのものが、公園の価値を形づくる大切な資源であると考えています。

また、多様な人々が伊勢志摩国立公園を訪れる機会を確保するためには、年齢、国籍、障がいの有無等にかかわらず、誰もが国立公園を楽しめる環境づくりが必要です。特に伊勢志摩国立公園は、バリアフリーの取組を積極的に進めてきた公園であり、障がいのある方が旅をあきらめることなく楽しめる環境整備を、今後も継続的に推進していきます。

さらに、近年は多くの訪日外国人が新たな訪問先を求めています。伊勢志摩国立公園は依然として十分に知られていません。旅前の情報発信を強化し、公園の価値と魅力を的確に伝える事で、訪日外国人利用者数の増加が期待できます。そして、来訪者が旅の中で出会う自然、伝統文化、人々の営みを通じて大切な価値を見出すことができれば、それは地域にとっても大きな意義を持つものとなります。

以上の考え方を踏まえ、SUP2030 におけるメインターゲットは以下の3つのグループとします。

#### (1) 地域で暮らす人々

伊勢志摩国立公園は、人々が暮らすエリアが広い国立公園であり、区域の約 7 割を占める普通地域には多くの住民が生活しています。そのため国立公園内で暮らしている事を認識していない住民も少なくありません。また、国立公園内で生活していることを知っている場合でも、当公園が持つ価値に気付いていなかったり、少し離れた地域の状況を十分に理解していなかったりすることがあります。SUP2030 では、国立公園内で暮らす人々が、伊勢志摩国立公園の優れた価値や魅力をあらためて認識し、その魅力を発信する担い手となることを期待しています。地域の伝統や文化を継承し、次世代へとつないでいく人材が増えることは、国立公園の持続的な発展にとって重要です。特に子ども達が、伊勢志摩地域に誇りを持ち、地域の価値を理解できるような活動を推進していきます。



## (2) 障がいのある方

三重県は1997年に「バリアフリー社会づくり」を提唱して以来、鳥羽市に「伊勢志摩バリアフリーツアーセンター」が設立されるなど、障がいのある方の受入れにおいて全国的にも先進的な地域として発展してきました。宿泊施設や観光施設のバリアフリー化が進むとともに、多くの体験型コンテンツにおいても、障がいのある方が安心して楽しめるよう工夫が重ねられています。近年では、より積極的に自然やアクティビティを楽しんでいただく「アクセシブルアドベンチャートラベル



(AAT)」の取組も始まり、新たな可能性が広がっています。SUP2030では、こうした地域の強みをさらに発展させ、多様な人々が伊勢志摩国立公園の魅力に触れられるような施策を積極的に推進していきます。

## (3) 訪日外国人

当国立公園の訪日外国人利用者比率は1%弱（2023年）と低い状況にありますが、これは今後の大きな伸び代として捉えることができます。2033年には伊勢神宮の式年遷宮を控えており、この機会を見据えた的確なプロモーションを行うことで訪日外国人の利用者数の増加が期待されます。



また、中部国際空港（セントレア）からの誘客にも積極的に取り組みます。訪日外国人については、特定の国や地域に限定したターゲット設定ではなく、伊勢神宮の歴史や自然、伝統文化、人々の営みを深く味わうことを目的とする旅行者を主なターゲットとします。

## 4. アウトカム指標・アウトプット指標

ビジョンの実現に向けて、地域内外の多様な人が関わり、自然と共生する国立公園の実現に向けた取組をはかる指標を検討します。

### ●アウトカム指標：施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標

アウトカム指標		2024 年実績	2030 年目標	
量	伊勢志摩国立公園 利用者数(1~12月)	788 万人※	→	820 万人 *1
	伊勢志摩国立公園 利用者数 (訪日外国人) (1~12月)	94,186	→	246,000 *2
質	伊勢志摩国立公園 満足度 (日本人)	79.4%	→	83.0% *3
	伊勢志摩国立公園 満足度 (訪日外国人)	73.7%	→	83.0% *4
	伊勢志摩国立公園 認知度 (日本人)	61.1%	→	72.0% *5
	伊勢志摩国立公園 認知度 (訪日外国人)	60.5%	→	79.0% *6
	伊勢志摩国立公園 推奨意向 (日本人)	61.7%	→	75.0% *7
	伊勢志摩国立公園 推奨意向 (訪日外国人)	89.5%	→	90.0% *8
	伊勢志摩国立公園内 平均宿泊数 (日本人)	1.2 日	→	1.6 日 *9
	伊勢志摩国立公園内 平均宿泊数 (訪日外国人)	3.1 日	→	3.2 日 *10

※伊勢志摩国立公園利用者数のみ 2023 年のデータ

(参考)

- \* 1:前回の式年遷宮 (2010 年) の国立公園利用者数は 820 万人。
- \* 2:2030 年利用者数目標の 3 %。2024 年の全国立公園の訪日外国人利用者比率は 17.7%。
- \* 3:2024 年日本人満足度 1 位は阿蘇くじゅう国立公園の 81.9%。訪日外国人の満足度ターゲットに合わせる。
- \* 4:2024 年訪日外国人満足度 1 位の支笏洞爺国立公園の 82.1%を超える満足度 (83%) をターゲットとした。
- \* 5:2024 年日本人の認知度 1 位 阿蘇くじゅう国立公園の 71.9%をターゲットとした。
- \* 6:2024 年訪日外国人の認知度 1 位 中部山岳国立公園の 78.9%をターゲットとした。
- \* 7:2024 年日本人の推奨意向 1 位は阿蘇くじゅう国立公園の 73.3%。この数値を超える推奨意向度をターゲットとした。
- \* 8:2024 年訪日外国人推奨意向 1 位は霧島錦江湾国立公園の 89.7%。伊勢志摩国立公園も 89.5%。高い水準なので、この数値のキープをターゲットとした。
- \* 9:2024 年の 14 公園の平均宿泊数 1.6 泊をターゲットにする。
- \* 10:2024 年の平均宿泊数 1 位は伊勢志摩国立公園。平均宿泊数 0.1 ポイント増加に挑戦する。

●アウトプット指標：事業を実施することによって直接発生した成果物・事業量

アウトプット指標（案）		
項目	活動指標	
具 体 的 な ア ク シ ョ ン	①多様な人にとって価値のある国立公園の創出	修景伐採の実施個所数
		手話通訳ガイドの数
		住民（子ども含む）に対する地域の魅力再発見事業の数
		英語が話せるタクシー運転手の数
		バリアフリールームのある宿泊施設の数
	②深掘りした価値のエコツーリズムの推進	エコツアーの参加者数
		アクセシブルツーリズムの実施数
	③広域連携の促進（受入体制、プロモーション）	中部国際空港を発着する国・地域を対象にした伊勢志摩国立公園の商談会の数
		関係機関の SNS フォロワー数

●伊勢志摩国立公園の個別の目標・指標

2026 年度の事業で地域特性を生かした評価指標を構築します。

## 5. プロジェクトの実施

### (1) 重点施策・集中的に取り組む事項

先述の現状分析および基本方針を踏まえ、以下の4項を柱に、重点施策・集中的に取り組む事項をまとめました。

#### 【4つの柱】

- (1) 「守りながら活かす」持続可能性
- (2) インクルーシブ（アクセシブル）な視点
- (3) 兆しを捉えるマネジメント
- (4) 広域・シームレス連携

---

### 1) 多様な人にとって価値のある国立公園の創出

---

多様な人にとっての価値ある国立公園の創出とは、「多様な人々に対応する多様な価値の深掘り」です。

国立公園内に暮らす人々や、国立公園で働く人々がその価値を深く理解し、誇りを持って関わり続けられるよう、地域とのつながりを強化していきます。地域の知恵や声を丁寧にすくい上げながら、共にこの公園を守り、育てていくための確かな土台を築いていきます。

また、高齢者、若者、障がいのある方、ファミリー、グループ旅行者、個人旅行者（FIT）、インバウンド、富裕層、低予算での旅行者など多様な来訪者がそれぞれのスタイルで快適に楽しめる仕組みや環境づくりを進めます。

---

### 2) 深掘りした価値のエコツーリズムの推進

---

エコツーリズムの拡大にあたっては、「伊勢志摩国立公園自然体験促進計画」に基づき、来訪者の利便性や安全性の確保と、地域ならではの魅力づくりとのバランスを大切にします。あわせて、こうした全体戦略を共有・理解したガイド人材の育成を進めるとともに、体験プログラムの継続的なブラッシュアップに取り組めます。

本地域が長年にわたり培ってきた自然と共生する文化的かつ持続可能なライフスタイルを基盤とし、その価値をエコツーリズムと有機的に結び付けます。地域住民の営みそのものを地域資源（自然・文化・生活）として再認識し、保全と利用の好循環を創出することで、地域の持続可能性と観光価値の向上を同時に実現します。また、来訪者に対しては、単なる体験消費にとどまらず、地域資源の保護・継承の意義を理解し、自らもその担い手の一員であるという意識を醸成する仕組みを構築します。解説・体験・参加型プログラム等を通じて共感と主体的関与を促し、地域資源の保全に対する積極的な支持と行動を広げていきます。

\*AAT（アクセシブルアドベンチャートラベル）に関して

これまで、障がいのある方々にもエコツアーを安心して楽しんでいただけるよう、事業者同士が連携しながらサポート体制の整備を進めてきました。今後はその取組をさらに発展させ、一人ひとりの「やってみたい」という思いに寄り添いながら、伊勢志摩国立公園で多様な体験に挑戦できる機会を広げていきます。地域のガイドや関係事業者が協力し、必要な配慮や支援のあり方を共有・工夫することで、障がいの有無にかかわらず、それぞれの希望や可能性に応じた体験が実現できる体制づくりを進めます。誰もが自然の中で自分らしく過ごし、達成感や喜びを感じられるエコツーリズムフィールドを目指します。

\*利用と保護

エコツーリズムによって新たな観光資源が見いだされる一方で、無秩序な拡大はオーバーツーリズムにつながるおそれがあります。これを当然の成り行きとせず、地域資源を観光資源として活かす段階からその兆しを捉え、価値を損なわないための適正な利用のあり方を検討します。守りながら活かす持続可能な仕組みづくりを進めます。

---

### 3) 広域連携 -受入体制-

---

広域的な連携を強化し、国立公園区域の内外にとらわれず、周辺エリアの民間事業者や関係団体と協働した受入体制の充実を図ります。

自治体間・部局間の連携を深め、行政の縦割りを超えた情報共有と役割分担により、地域全体で一体感のある観光推進体制を構築します。

地域資源や体験プログラムを面的につなぎ、移動・案内・情報発信を含めたシームレスな観光環境を整えることで、エリア全体の魅力向上を目指します。

---

### 4) 広域連携 -プロモーション-

---

関係事業者・自治体による広域連携を基盤に、吉野熊野国立公園など伊勢志摩国立公園外との連携を強化し、多様な来訪者層を見据えた新たな広域観光ルートを提案します。

伊勢志摩・吉野熊野両公園の自然・文化資源を組み合わせた広域プロモーションを展開し、インバウンドを含む幅広い来訪者に伊勢志摩国立公園ならではの価値を効果的に発信します。

空港や鉄道などの広域交通と連携し、多言語対応やアクセシビリティの向上を図ることで、誰もが安心して周遊できるシームレスな受入環境が整備されている事をプロモーションし、新規利用者の増加を図ります。

地域資源や体験プログラムを面的につなぎプロモーションをすることで、当国立公園の新たな魅力の発信を図り、滞在日数の増加に努めます。

---

### 5) 指定 100 周年に向けた目標の設定と予算の確保

---

2046年の伊勢志摩国立公園指定100周年という節目に向けて、「伊勢志摩国立公園ビジョン」【つなげるわ、ひろげるわ 未来につなごう伊勢志摩国立公園】の実現に向けた歩みを加速させます。各自治体や参画団体は、SUP（戦略的アクションプラン）に基づき中期的な目標を掲げ、必要な予算を確保し

たうえて、具体的な事業を段階的に始動します。

## 6) 地域特性を生かした「伊勢志摩モデル」の評価指標構築

成果を踏まえ、今後は伊勢志摩国立公園としての強みや特色をよりの確に捉える評価のあり方を検討します。

地域資源が適切に守られているか、来訪者がその価値に満足しているか、先進的に取り組んできたアクセシブルアドベンチャーツアーがどのような成果を上げているかなど、地域の実情に即した視点から指標を設定します。

あわせて、客観的かつ継続的に測定可能な指標とすることを前提に、評価項目と測定手法を関係者で共有・検討し、実効性のある評価体系の構築を進めます。

## (2)プロジェクト実施案

SUP2030 に基づき、現在予定されている実施案の一部については、取組ごとに大まかに整理し、以下に記載します。これらの実施案につきましては、SUP2030 の開始に合わせて、別資料にて管理します。

### 1) 多様な人にとって価値のある国立公園の創出

取組	実施事項	実施団体
交通アクセス等の充実	パーク&バスライド	伊勢市
	二次交通問題解消	志摩市
	周遊促進	志摩市
受入れ環境づくり	バリアフリー観光推進	伊勢市
	パンフレット作成	伊勢市
	看板等整備	南伊勢町、伊勢市
	修景伐採	環境省、三重県、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町
	拠点施設の機能強化・利便性の向上	伊勢志摩国立公園ふれあい推進協議会
インナープロモーション	住んでいる場所の魅力再発見事業	志摩市
	別の市・町の魅力を知る活動支援	環境省
指定 80 周年記念	指定 80 周年のインナープロモーション	伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、伊勢志摩国立公園協会
	指定 80 周年記念各行事	伊勢志摩国立公園協会
	指定 80 周年事業	環境省、志摩市、伊勢志摩国立公園ふれあい推進協議会、近畿日本鉄道株式会社
SUP	地域協議会開催	三重県・環境省
	SUP 若手ミーティング	環境省

## 2) 深掘りした価値のエコツーリズムの推進

取組	実施事項	実施団体
エコツーリズムの推進	コンテンツ作成・整備	伊勢市、南伊勢町
	エコツーリズムの推進	鳥羽市／鳥羽市エコツーリズム推進協議会
	自然観察会・体験教室	伊勢志摩国立公園協会、伊勢志摩国立公園ふれあい推進協議会
ガイド環境の整備	ガイドマップの作成	環境省
	ガイド育成	伊勢市、南伊勢町

## 3) 広域連携 -受入体制-

取組	実施事項	実施団体
受入体制の整備	伊勢志摩高付加価値インバウンド観光地づくり	伊勢志摩観光コンベンション機構
	吉野熊野国立公園と連携した観光推進体制の構築	環境省
	国・県・関係市町、関係団体と連携した体制作り	志摩市

## 4) 広域連携 -プロモーション-

取組	実施事項	実施団体
プロモーション	誘客促進のプロモーション	環境省、伊勢市、志摩市
	国・県・関係市町、関係団体と連携したプロモーション	環境省、伊勢市、志摩市
	観光コンテンツの実証を行いながらのPR	志摩市
情報発信	Website, YouTube, SNS 等を活用した情報発信	伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町
	TV、アプリ、雑誌等を活用した情報発信	伊勢志摩観光コンベンション機構

## 6. 効果検証

伊勢志摩国立公園地域協議会を定期的開催し、取組の進捗状況の把握と目標の達成状況について確認し、取組の効果について検証を行います。

また、必要に応じ取組内容の見直しを行います。

### (1) スケジュール予定（取組の進捗確認と目標の達成）

- ① 2026年7月頃までに第1回地域協議会幹事会を開催します。
  - ・ 第1回幹事会までに、2026年度以降に満喫プロジェクトとして取り組む事業計画の「2026年度当初案」をご提出いただきます。
  - ・ 事務局では、提出いただいた案を取りまとめ、幹事会において確認します。
- ② 2026年8月頃までに第1回地域協議会を開催します。
  - ・ SUP2030初年度である2026年事業案を確認します。
  - ・ その後、それに沿って各主体が事業を展開します。
- ③ 2027年2月頃までに第2回地域協議会幹事会を開催します。
  - ・ 第2回幹事会までに、2026年度事業の進捗報告、2027年度以降の事業計画案をご提出いただきます。
  - ・ 事務局では、提出いただいた報告及び事業計画案を取りまとめ、幹事会においてSUP2030初年度事業の進捗状況及び2027年度以降事業計画案などを確認します。
- ④ 2027年3月頃までに2026年度第2回地域協議会を開催します。
  - ・ 2026年度事業の進捗状況と課題を確認します。
  - ・ 2027年度以降の事業計画案を確認し、2026年度当初案の修正も可能とします。
  - ・ 伊勢志摩国立公園の個別目標・指標に関する事業成果を確認します。
- ④ 2027年度以降～2029年度の3年間は、毎年2月頃に幹事会、3月頃に地域協議会を開催します。
  - ・ 毎年度の事業案の進捗状況と課題を確認し、翌年度以降の事業案を検討します。
  - ・ 前年度に作成した案の修正も可能とします。
  - ・ この3年間は必要に応じて幹事会を開催します。
  - ・ 2030年度のスケジュールについては、2030年3月の地域協議会で決定します。
- ⑤ 2030年度末の地域協議会では、2026年度から2030年度までの5年間の取組の進捗状況を総括し、次年度以降の活動に活かします。

### (2) 目標の達成状況に係る評価

- ① 毎年度末の地域協議会で、アウトカム指標とその目標の達成状況を確認し、評価・検証を行います。
- ② 毎年度末の地域協議会で、アウトプット指標の活動指標を確認し、評価・検証を行います。アウトプット指標は、特にその経年変化を見る事が重要だと思われます。
- ③ 2027年度以降は、2026年度末の地域協議会で確認した、伊勢志摩国立公園の個別の目標・指標に基づいて、当国立公園の活動状況の評価・検証も毎年度末の地域協議会で行います。

### (3) プログラムの改訂

取組の進捗状況やアウトカム指標の達成状況、あるいはその他の理由によりプログラムの改訂が必要となった場合は、幹事会にて検討した後、地域協議会において検討・承認のうえ改訂を行います。

## 伊勢志摩国立公園地域協議会設置要綱

### (目的)

第1条 国立公園の美しい自然を活かし、より上質な体験を提供することにより、世界水準の「ナショナルパーク」へと改革していく国立公園満喫プロジェクトを伊勢志摩国立公園において推進するための具体的なプログラム(以下、「ステップアッププログラム」という。)を策定し、実施していくことを目的に、関係機関の相互の連携を図るため、伊勢志摩国立公園地域協議会(以下、「協議会」という。)を設置する。

### (協議事項)

第2条 協議会は、以下に掲げる事項を協議する。

- (1) 伊勢志摩国立公園における国立公園満喫プロジェクトの推進に関する事項
- (2) 「ステップアッププログラム」の策定及び実施に関する事項
- (3) その他、第1条の目的を達成するために必要と認められる事項

### (構成員)

第3条 協議会は、別表1に掲げる関係機関等をもって構成する。

2 協議会は、必要に応じアドバイザーから意見を聞くことができる。アドバイザーは別表2とする。

### (会議)

第4条 会議は、必要に応じて事務局が招集する。

2 議事は、事務局長が進行する。

### (幹事会)

第5条 協議会の協議事項を円滑に進めるため、協議会に幹事会を設置する。

2 幹事会は、別表3に掲げる者で組織する。

3 幹事会では、次の事項について協議する。

- (1) 協議会から付託された事項
- (2) 協議会に付議すべき事項
- (3) その他、協議会の運営を円滑にするために資する事項

4 幹事会は、必要に応じ別表2のアドバイザーから意見を聞くことができる。

5 幹事会には、必要に応じ部会を置くことができる。

### (事務局)

第6条 協議会の事務局は、三重県農林水産部及び中部地方環境事務所に置く。

2 事務局長は、三重県農林水産部長及び中部地方環境事務局長をもって充てる。

### (改正)

第7条 この要綱は、第3条に規定する協議会の構成員の発議により、協議会に出席した構成員の合意を得て、改正することができる。

### (その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 この要綱は、平成 28 年 9 月 11 日から施行する。

平成 29 年 6 月 2 日 改正

平成 30 年 6 月 5 日 改正

令和 3 年 3 月 23 日 改正

令和 3 年 8 月 27 日 改正

別表 1

第 3 条第 1 項 構成員

構成員
《観光関係団体》
一般財団法人 伊勢志摩国立公園協会会長
公益社団法人 伊勢志摩観光コンベンション機構事務局長
公益社団法人 伊勢市観光協会会長
一般社団法人 鳥羽市観光協会会長
一般社団法人 志摩市観光協会会長
南伊勢町観光協会会長
伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会会長
鳥羽市エコツーリズム推進協議会会長
伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会会長
《交通事業者》
近畿日本鉄道 株式会社部長
三重交通 株式会社常務取締役
《国の機関》
国土交通省中部運輸局観光部長
国土交通省中部地方整備局企画部長
環境省中部地方環境事務所長
《地方自治体》
伊勢市長
鳥羽市長
志摩市長
南伊勢町長
三重県地域連携・交通部長
三重県地域連携・交通部 南部地域振興局長
三重県雇用経済部長
三重県観光部長
三重県県土整備部長
三重県農林水産部長

## 第3条第2項 アドバイザー

アドバイザー
浅野 聡
皇學館大学
NPO 法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
橋川 史宏
天白 幸明
株式会社 近畿日本ツーリスト中部
近鉄グループホールディングス 株式会社
株式会社 J T B
三井不動産 株式会社
中村 賢一
鳥羽市立 海の博物館
神宮司庁
三重県農業協同組合中央会
三重県漁業協同組合連合会
いせしま森林組合
三重県商工会議所連合会
三重県商工会連合会
株式会社 百五銀行
三十三銀行
志摩半島野生動物研究会
※その他、事務局長が必要と認める者

## 第 5 条第 2 項 幹事会

構成員
《観光団体》
一般財団法人 伊勢志摩国立公園協会事務局長
公益社団法人 伊勢志摩観光コンベンション機構事務局長
《国の機関》
国土交通省中部運輸局観光部観光地域振興課長
国土交通省中部地方整備局企画部企画課長
環境省中部地方環境事務所伊勢志摩国立公園管理事務所長
《地方自治体》
伊勢市関係各課長
鳥羽市関係各課長
志摩市関係各課長
南伊勢町関係各課長
三重県関係各課長

## 伊勢志摩国立公園 ステップアッププログラム2030 添付参考資料

1. 伊勢志摩国立公園ブランドプロモミス
2. 国立公園カルテ（伊勢志摩国立公園）（R6年度）
3. 「伊勢志摩国立公園のビジョン検討のための関係者・団体アンケート調査の結果報告」（R6年度）

添付参考資料 2

令和6年度「国立公園満喫プロジェクト」推進業務

### 公園別カルテ 伊勢志摩国立公園

自然環境局 国立公園課  
2025年3月19日

#### ブランドメッセージ

その自然には、物語がある。

#### 提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。

#### ブランドプロモミス（国立公園が来訪者・地域に約束すること）



## 1. 調査概要および結果サマリ

版数	更新日	更新内容/理由
1.0	2025/2/28	初版
1.1	2025/3/19	グラフおよび文章を微修正（結果サマリ、Q9-来征スホト、Q11-実施した活動、Q17-推奨意向の4箇所）

## 調査概要

### 調査目的

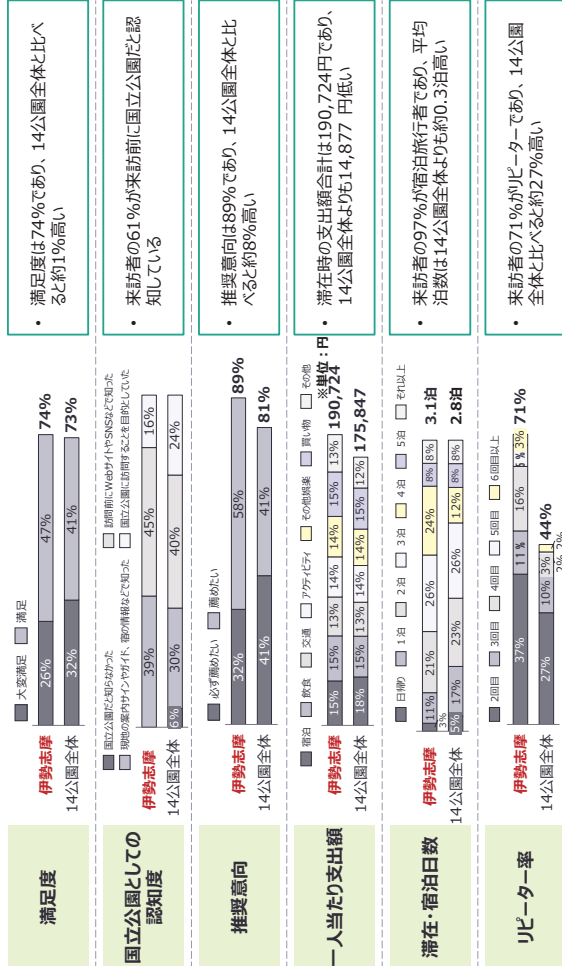
- 本調査は、国立公園満喫プロジェクトの成果指標として、自然を満喫できる質の高いツーリズムの実現に向けた「質」の指標（一人あたりの消費額・リピーター率、認知度、満足度等）の把握を目的としており、Webアンケートパネル調査による日本人・訪日外国人来訪者からの意見収集・分析を実施している。

### 調査手法

- 調査方法：Webモニター型アンケート調査
- 調査期間：2024年11月1日～21日 ※2023年11月～2024年10月末までの公園来訪者が対象
- 対象公園：下記の14公園  
阿蘇国立公園、支笏洞窟国立公園、支笏湖・定山渓地域のみ、十和田八幡平国立公園、三陸復興国立公園、磐梯朝日国立公園（うち、磐梯吾妻・猪苗代地域の分）、日光国立公園、富士箱根伊豆国立公園（うち、富士山麓及び箱根地域の分）、中部山岳国立公園（うち、南部地域（長野県松本市・岐阜県高山市）のみ）、伊勢志摩国立公園、大山隠岐国立公園、阿蘇くじゅう国立公園、霧島錦江湾国立公園、鹿児島県国立公園、やんばる国立公園
- 調査対象：全国47都道府県に居住する18歳以上の日本人  
下記12カ国・地域に居住する18歳以上の訪日外国人  
アジア：韓国、香港、台湾、中国、タイ、シンガポール  
欧米豪：アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、フランス、ドイツ
- 回答者数：日本人 5,040名（対象14公園×360サンプル）  
訪日外国人 549名（対象14公園×36～49サンプル）

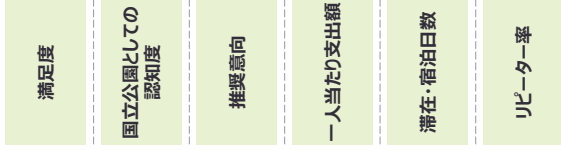
3

## 主要指標の結果サマリ（訪日外国人向け調査）



5

## 主要指標の結果サマリ（日本人向け調査）



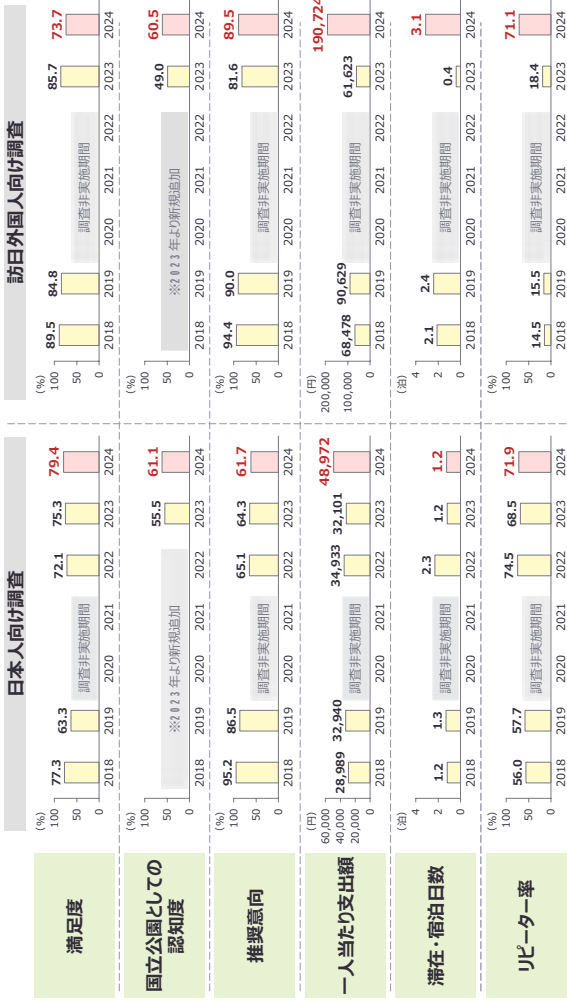
4

## 各項目における数値上位の公園一覧

項目	日本人向け調査	訪日外国人向け調査
満足度	阿蘇くじゅう国立公園 81.9% 伊勢志摩国立公園 81.1% 伊勢志摩国立公園 79.4%	大宮満足・満足 89.5% やんばる国立公園 82.1% 支笏洞窟国立公園 79.6%
国立公園としての認知度	阿蘇くじゅう国立公園 71.9% 日光国立公園 67.5% 大山隠岐国立公園 66.9%	中部山岳国立公園 78.9% 慶良間諸島国立公園 75.0% 十和田八幡平国立公園 71.1%
推奨意向	阿蘇くじゅう国立公園 73.3% 慶良間諸島国立公園 70.6% 十和田八幡平国立公園 68.1%	霧島錦江湾国立公園 89.7% 伊勢志摩国立公園 89.5% 十和田八幡平国立公園 86.8%
一人当たり支出額	慶良間諸島国立公園 ¥142,201 やんばる国立公園 ¥64,125 阿蘇くじゅう国立公園 ¥58,368	阿蘇くじゅう国立公園 ¥259,474 磐梯朝日国立公園 ¥215,132 霧島錦江湾国立公園 ¥205,897
滞在・宿泊日数	慶良間諸島国立公園 2.31泊 やんばる国立公園 2.26泊 阿蘇くじゅう国立公園 2.02泊	伊勢志摩国立公園 3.13泊 阿蘇くじゅう国立公園 3.13泊 磐梯朝日国立公園/中部山岳国立公園 3.11泊
リピーター率	高士箱根伊豆国立公園 80.6% 伊勢志摩国立公園 71.9% 阿蘇くじゅう国立公園 70.8%	伊勢志摩国立公園 71.1% 大山隠岐国立公園 63.9% 霧島錦江湾国立公園 61.5%

6

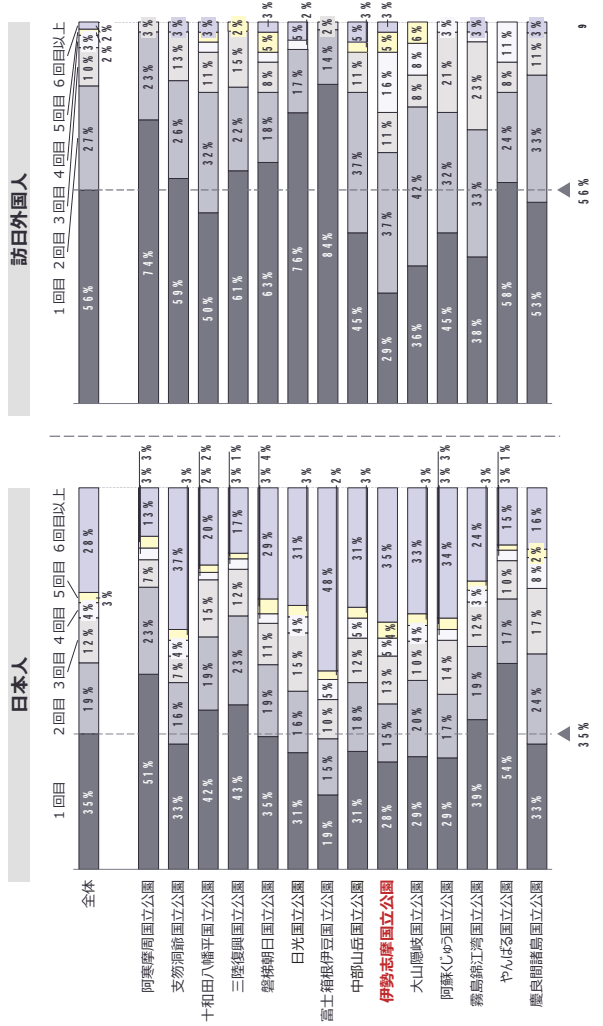
# 主要指標の経年推移



※2018～2019年調査と2022～2024年調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。

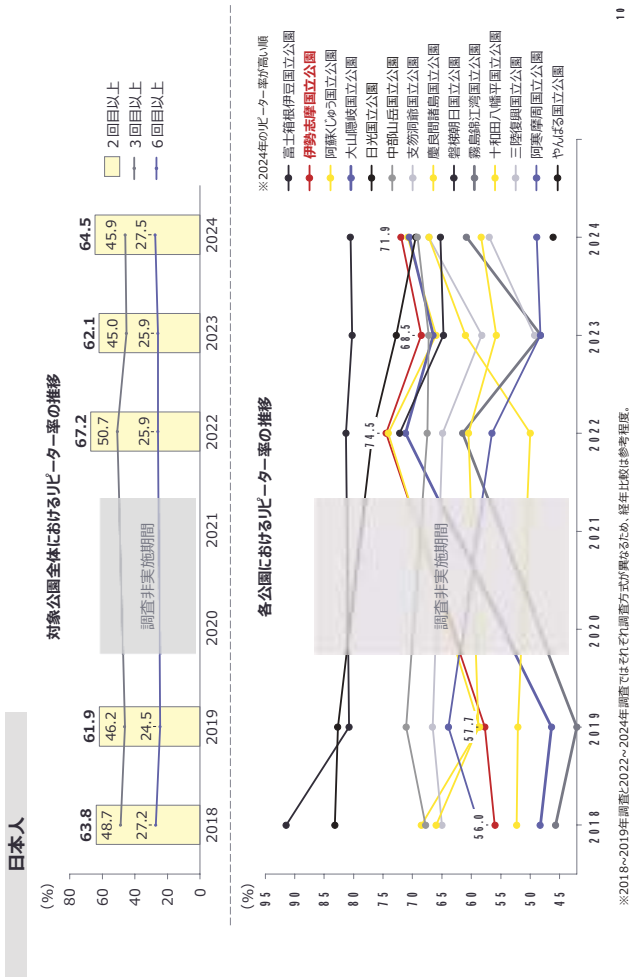
# Q1. リピーター率

Q1. この国立公園への訪問は今回が何回目ですか。



# 2. 調査結果詳細

# Q1. リピーター率



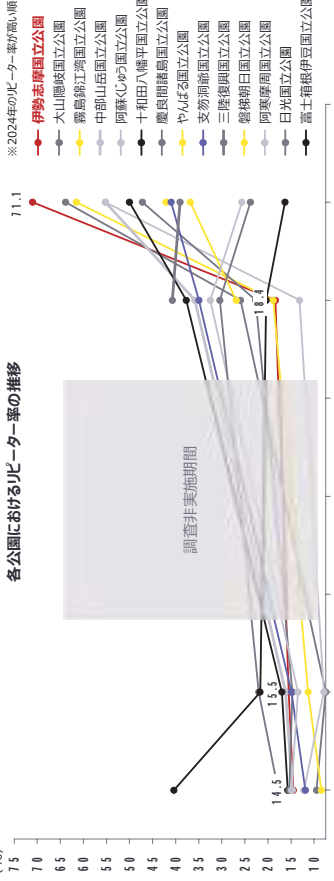
※2018～2019年調査と2022～2024年調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。

# Q1. リピーター率

## 訪日外国人



## 各公園におけるリピーター率の推移

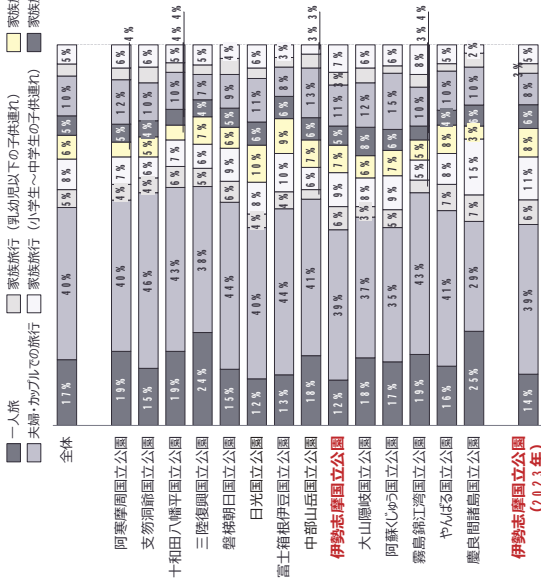


※2018～2019年調査と2022～2024年調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。

# Q2. 来訪形態

Q2. あなたは、この国立公園を誰と一緒に訪れましたか。  
※1 回以上訪問していた場合は、訪問回数が多い方についてお答えください。

## 日本人

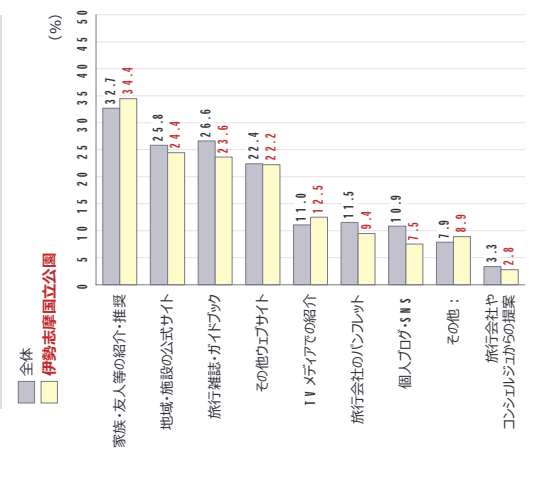


※2023年調査が新施設開いた期間のため、2か年比較のみ。

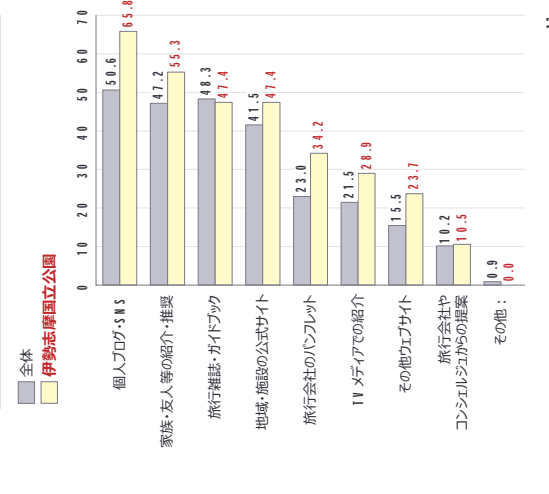
# Q3. 来訪のきっかけとなった情報源

Q3. 訪問のきっかけとなった情報源をお答えください。(いくつでも)

## 日本人



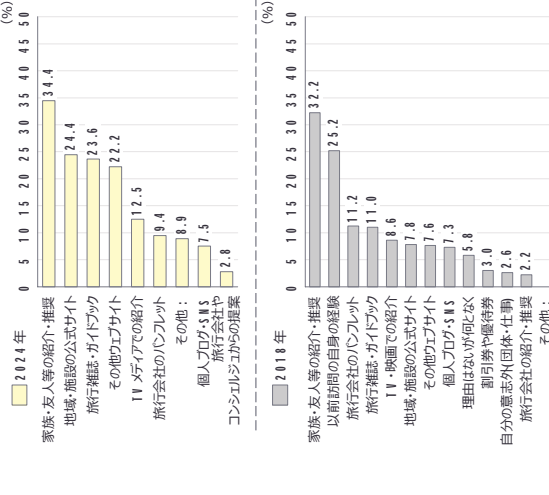
## 訪日外国人



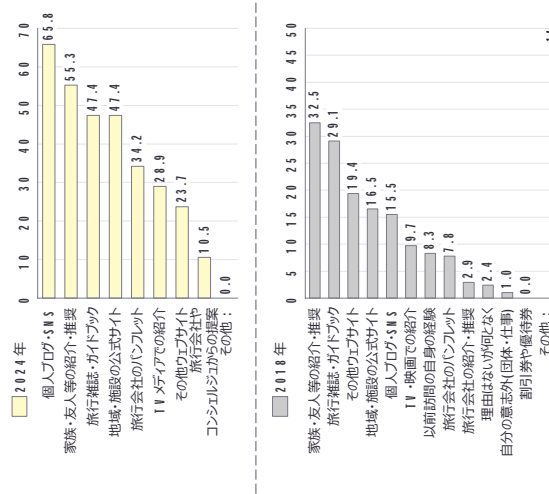
# Q3. 来訪のきっかけとなった情報源

Q3. 訪問のきっかけとなった情報源をお答えください。(いくつでも)

## 日本人



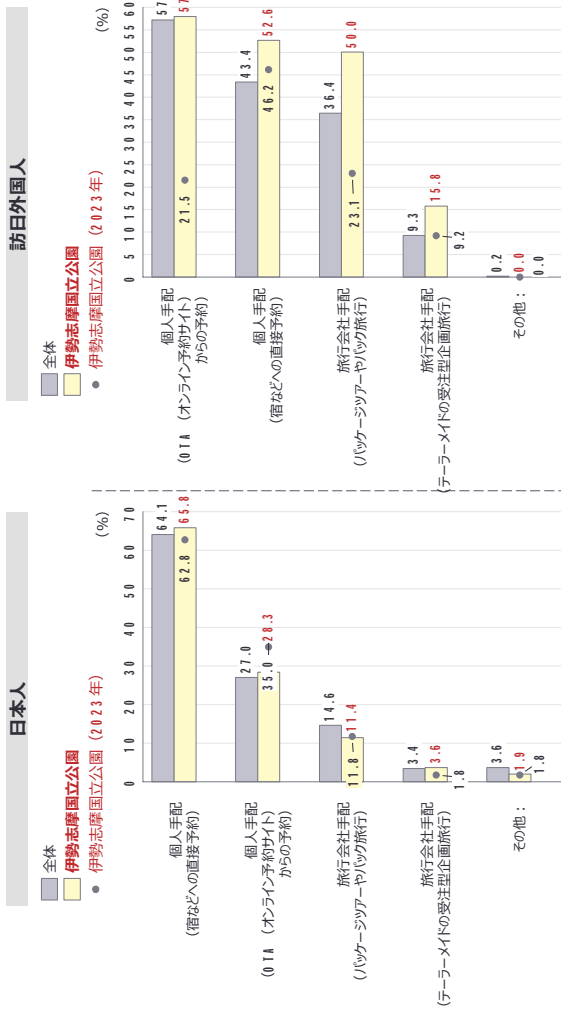
## 訪日外国人



※各調査年で遊覧時間が少しずつ異なるため、全ての年度を比較することが困難。従って、コロナ前に対応する2018年のデータが採用された。

## Q4. 旅行手配の方法

Q4. 訪問時の旅行手配について当てはまるものをお答えください。(いくつでも)

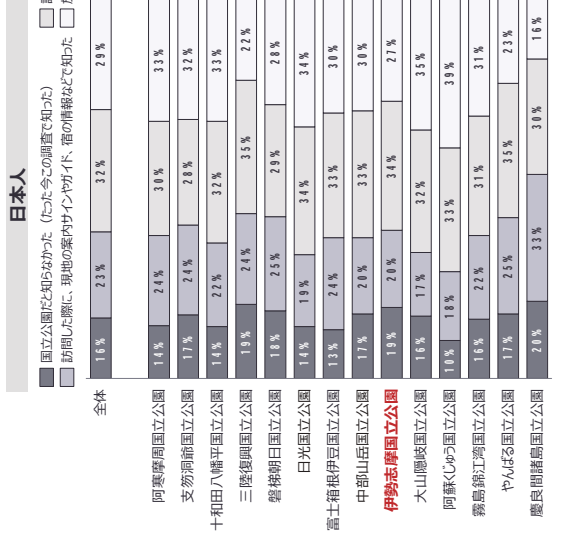


※2023年調査が新規追加した設問のため、24年比較のみ。

15

## Q5. 公園認知度

Q5. 訪れた観光地を国立公園だと認識したタイミングはいつですか。



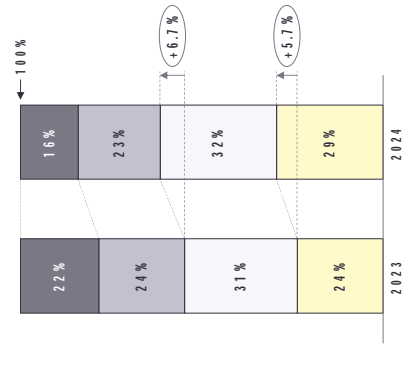
16

## Q5. 公園認知度

日本人

対象公園全体における国立公園としての認知度推移

- 国立公園だと知らなかった (今回の調査で知った)
- 訪問した際に、現地の案内サイトやガイド、宿の情報などで知った
- 訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った
- 旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた



※2022年以前は調査設問内容が異なるため、経年比較の対象から除外している

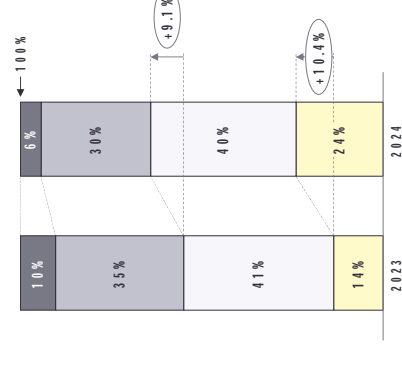
17

## Q5. 公園認知度

訪日外国人

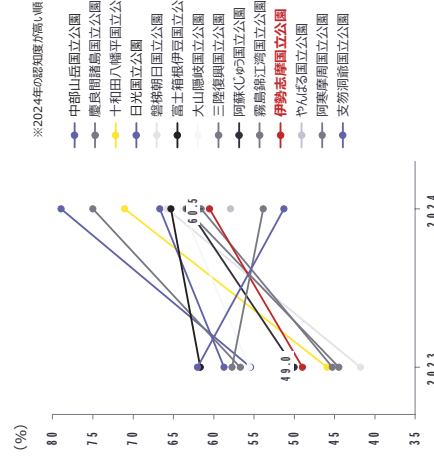
対象公園全体における国立公園としての認知度推移

- 国立公園だと知らなかった (今回の調査で知った)
- 訪問した際に、現地の案内サイトやガイド、宿の情報などで知った
- 訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った
- 旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた



各公園における国立公園としての認知度推移

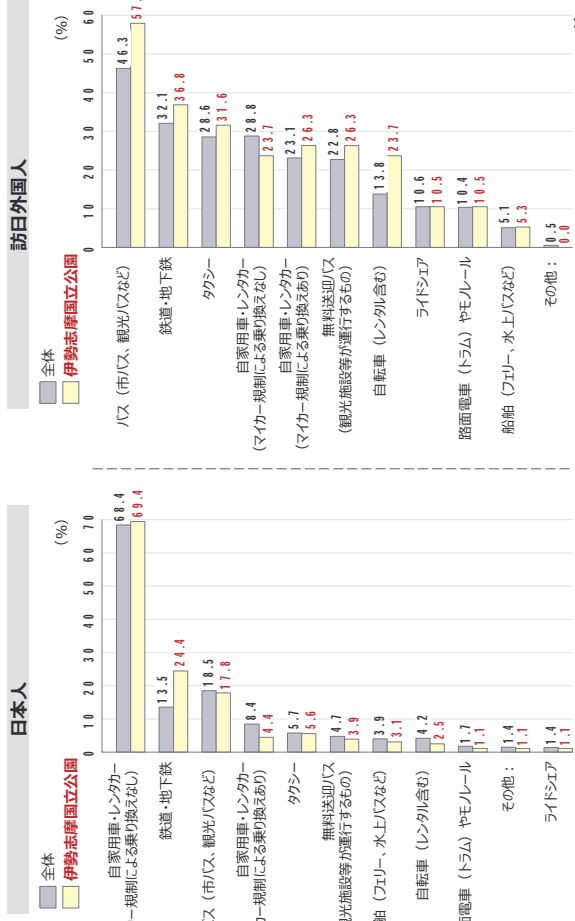
※「訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った」、「旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた」と回答した方の割合の合算値として集計



18

## Q6. 交通手段

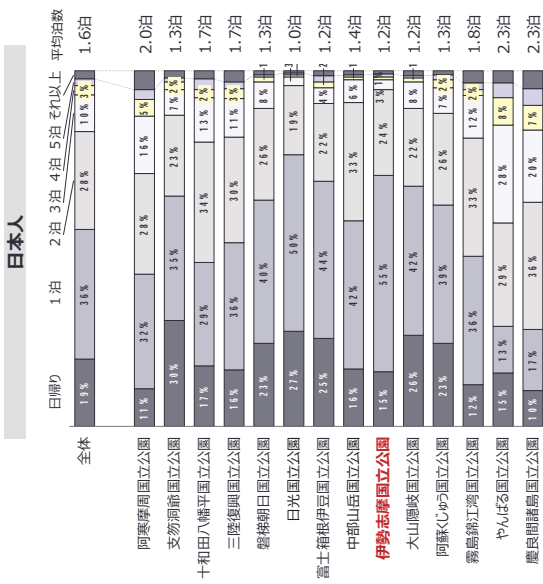
Q6. 訪問時に使用した交通手段（※二次交通の手段）として当てはまるものをお答えください。（いくつでも）  
 ※二次交通とは、主要な空港やターミナル駅から観光地までの移動手段を指します。



※2024年調査が新規追加した設問のため、経年比較対象外。

## Q7. 平均泊数

Q7. 訪問時の滞在・宿泊日数をお答えください。

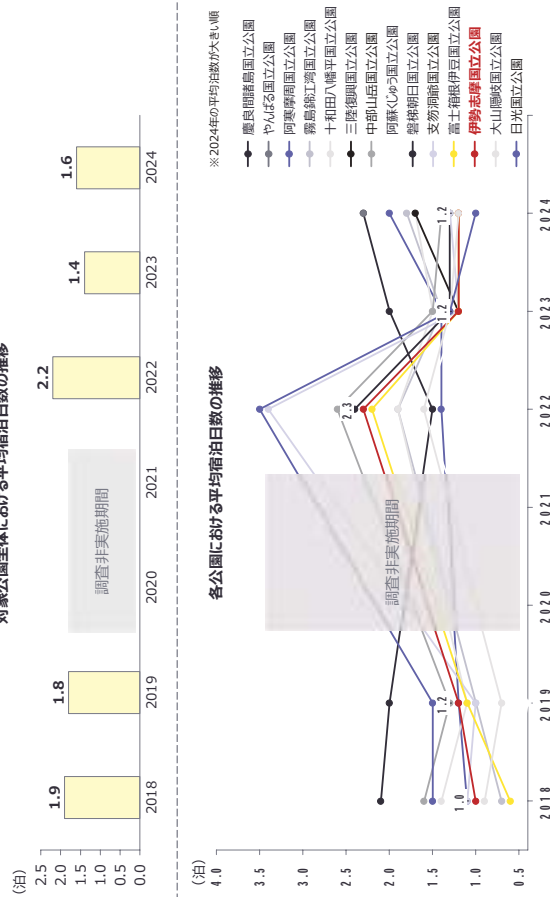


滞在・宿泊日数	日本人 (%)		訪日外国人 (%)	
	全体	伊勢志摩国立公園	全体	伊勢志摩国立公園
1泊	18%	11%	5%	19%
2泊	35%	32%	19%	23%
3泊	28%	33%	23%	25%
4泊	16%	29%	28%	26%
5泊	3%	38%	17%	17%
それ以上	1%	1%	2%	2%

## Q7. 平均泊数

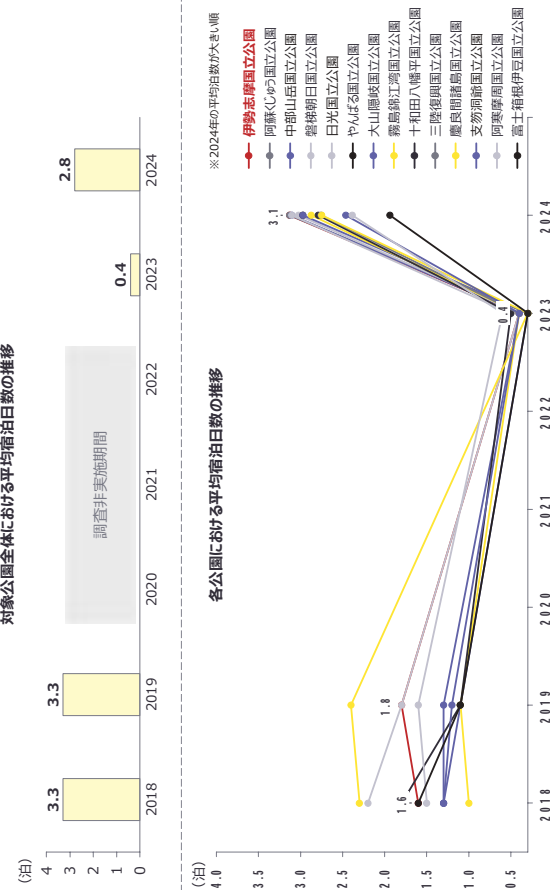
日本人

対象公園全体における平均宿泊日数の推移



訪日外国人

対象公園全体における平均宿泊日数の推移



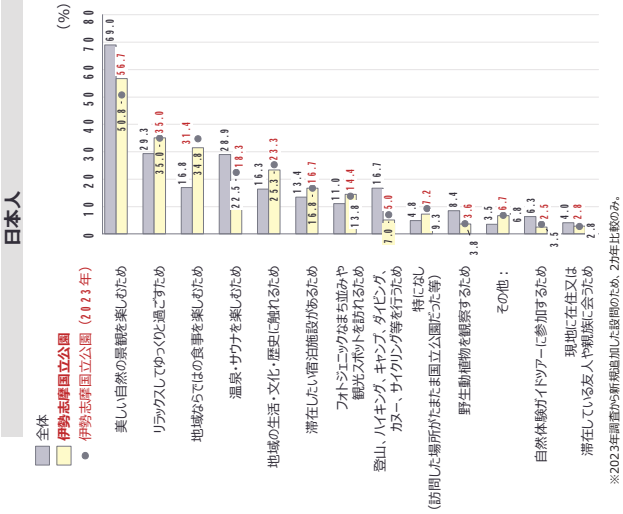
※2018～2019年調査と2022～2024年調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。  
 ※また、Webモニターへ移行しては2022年以降においても、それぞれ訪問内容が異なる点に留意が必要。

※2018～2019年調査と2022～2024年調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。  
 ※また、Webモニターへ移行しては2022年以降においても、それぞれ訪問内容が異なる点に留意が必要。



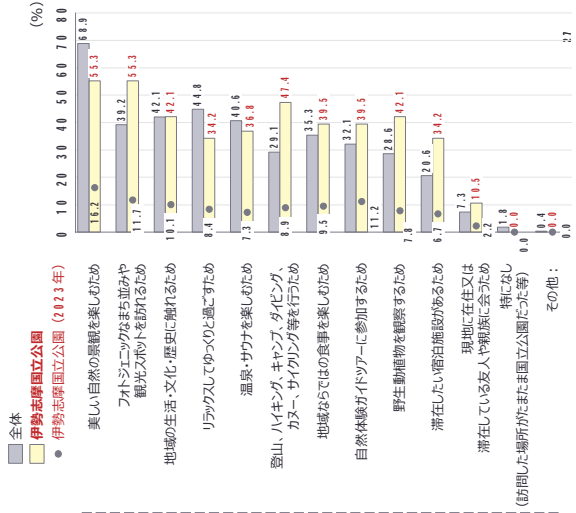
# Q10. 来訪目的

Q10. この公園を訪れた目的を教えてください。(いくつでも)

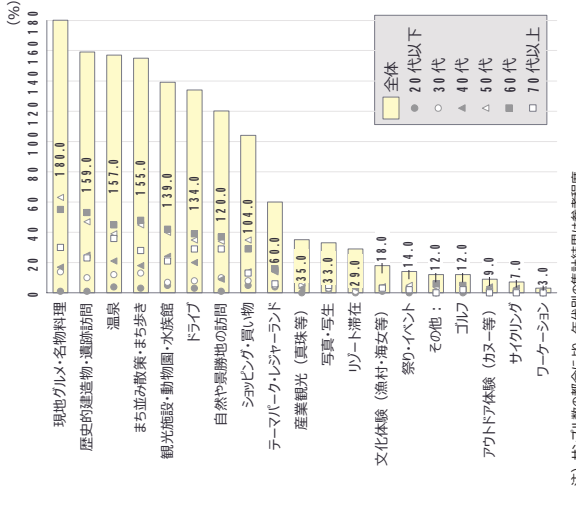


※2023年調査が新規追加した質問のため、21年と比較のみ。

## 訪日外国人



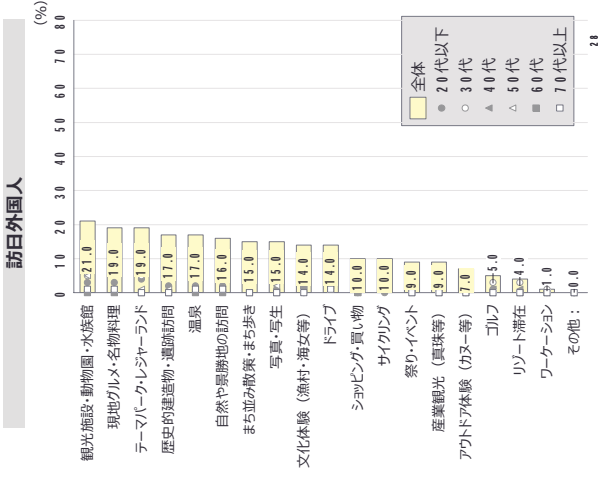
## 日本人



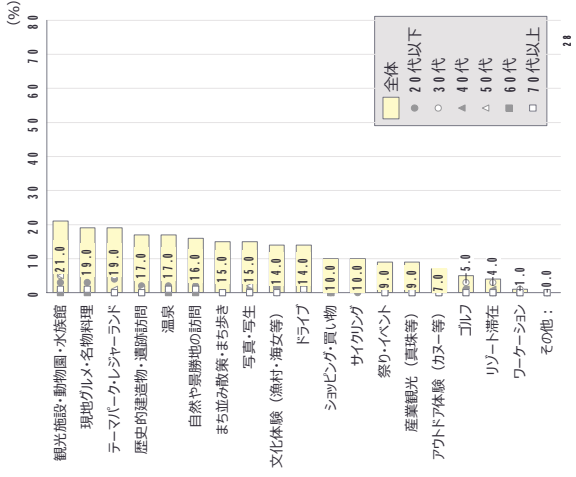
注) サンプル数の都合により、年代別の集計結果は参考程度

# Q11. 実施した活動

Q11. 実施した活動をお答えください。(いくつでも)

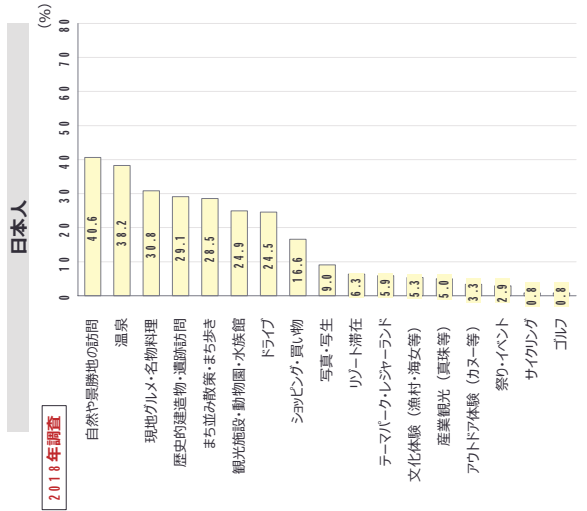


## 訪日外国人



# Q11. 実施した活動

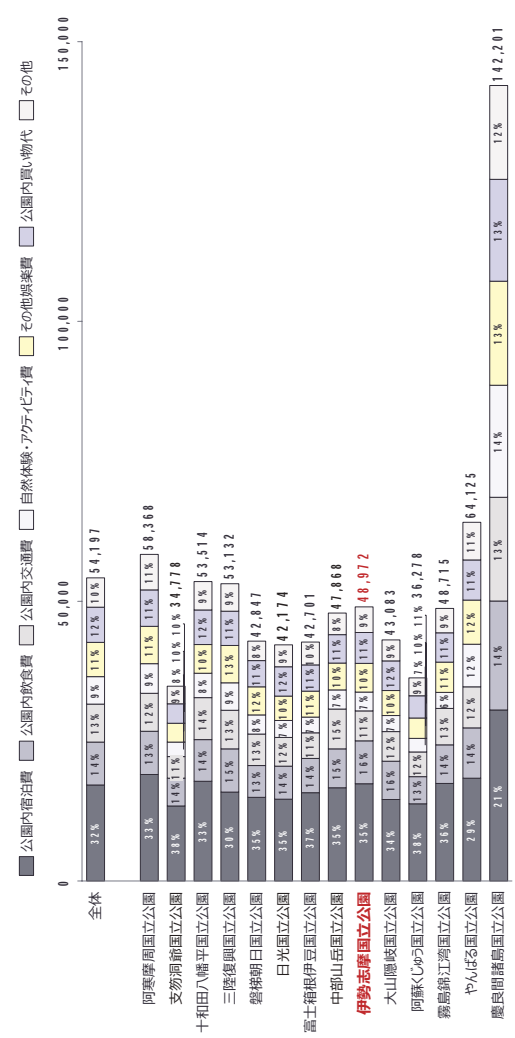
Q11. 実施した活動をお答えください。(いくつでも)



※各調査年で選取数が少しずつ異なるため、全ての年度を比較することが困難。従って、コロナ前を相当する2018年のデータで比較。

# Q12. 一人当たり支出額

Q12. 国立公園内での一人当たり支出額として、最も近いものをお選びください。



※本図は自由記号式では選択形式としているため、各郡市別を下記のように変換して平均額を計算している。  
5,000円未満 → 2,500円, 5,000～10,000円未満 → 7,500円, ... (略) ... 80,000～90,000円未満 → 85,000円, 90,000～100,000円未満 → 95,000円, 100,000円以上 → 105,000円



# Q12. 一人当たり支出額

## 訪日外国人

### 国立公園内での一人当たり支出額

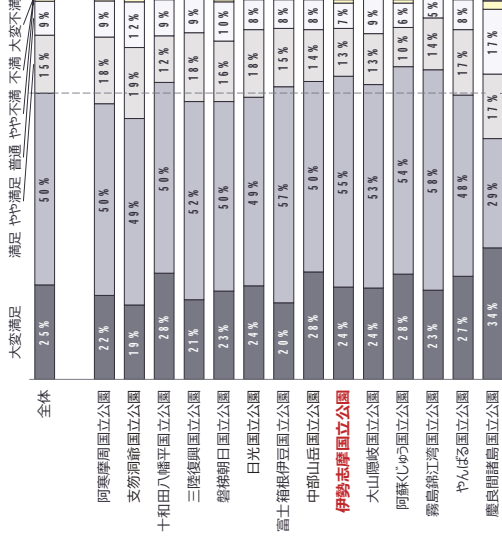
	宿泊費	飲食費	交通費	自然体験・アクティビティ費	その他娯楽費	買利物代	その他	合計(平均値)	合計(中央値)	平均泊数(※参考)
<b>全体</b>	<b>¥31,753</b>	<b>¥26,566</b>	<b>¥22,382</b>	<b>¥24,126</b>	<b>¥23,752</b>	<b>¥26,944</b>	<b>¥20,323</b>	<b>¥175,847</b>	<b>¥137,500</b>	<b>2.8泊</b>
阿寒摩周国立公園	¥30,897	¥21,603	¥16,282	¥18,654	¥15,962	¥21,987	¥13,910	¥139,295	¥100,000	2.4泊
支笏洞爺国立公園	¥35,449	¥20,385	¥18,013	¥17,115	¥17,372	¥21,346	¥17,564	¥147,244	¥102,500	2.5泊
十和田八幡平国立公園	¥29,539	¥29,737	¥22,303	¥24,737	¥27,434	¥30,987	¥22,566	¥187,303	¥161,250	2.8泊
三陸復興国立公園	¥27,561	¥25,976	¥23,659	¥23,720	¥23,780	¥24,268	¥20,732	¥169,695	¥102,500	2.8泊
磐梯朝日国立公園	¥36,776	¥29,934	¥28,158	¥28,355	¥30,000	¥35,789	¥26,118	¥215,132	¥162,500	3.1泊
日光国立公園	¥29,524	¥21,786	¥19,762	¥24,286	¥21,845	¥25,119	¥14,821	¥157,143	¥101,250	3.0泊
富士箱根伊豆国立公園	¥22,806	¥16,582	¥9,949	¥10,459	¥9,184	¥13,673	¥8,929	¥91,582	¥65,000	1.9泊
中部山岳国立公園	¥35,526	¥32,303	¥23,224	¥27,697	¥29,079	¥31,250	¥22,568	¥201,447	¥152,500	3.1泊
<b>伊勢志摩国立公園</b>	<b>¥29,079</b>	<b>¥29,474</b>	<b>¥25,526</b>	<b>¥26,447</b>	<b>¥26,513</b>	<b>¥29,145</b>	<b>¥24,539</b>	<b>¥190,724</b>	<b>¥161,250</b>	<b>3.1泊</b>
大山隠岐国立公園	¥28,611	¥27,222	¥30,833	¥30,764	¥30,903	¥26,458	¥25,208	¥200,000	¥212,500	3.0泊
阿蘇くまもと国立公園	¥44,211	¥40,658	¥36,118	¥34,605	¥37,632	¥31,447	¥25,474	¥259,474	¥260,000	3.1泊
霧島錦江湾国立公園	¥35,833	¥31,474	¥25,000	¥28,846	¥27,756	¥32,564	¥24,423	¥205,897	¥165,000	2.9泊
やんばる国立公園	¥35,526	¥25,461	¥20,592	¥23,487	¥21,184	¥27,434	¥19,013	¥172,697	¥155,000	3.0泊
鹿児島県国立公園	¥25,694	¥22,778	¥18,125	¥23,056	¥21,667	¥23,750	¥16,944	¥152,014	¥126,250	2.8泊

※本表は自由記述式ではなく選択形式となっているため、各欄数値を下記の5%に差額を計算して1/8  
5,000円未満 → 2,500円、5,000~10,000円未満 → 7,500円、... (同) ... 80,000~90,000円未満 → 85,000円、90,000~100,000円未満 → 95,000円、100,000円以上 → 105,000円

# Q13. 満足度

Q13. 訪問中における各項目の満足度をお答えください。

## 日本人



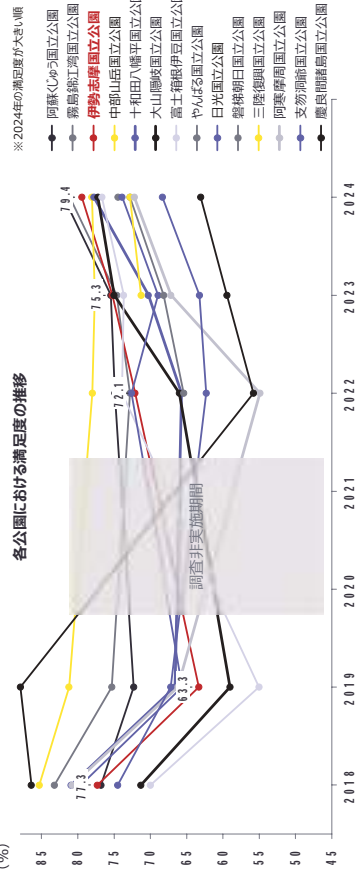
# Q13. 満足度

## 日本人

### 対象公園全体における満足度の推移

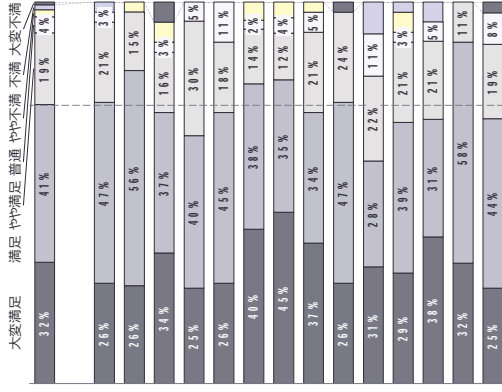


### 各公園における満足度の推移



※2018~2019年調査と2022~2024年調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。

## 訪日外国人

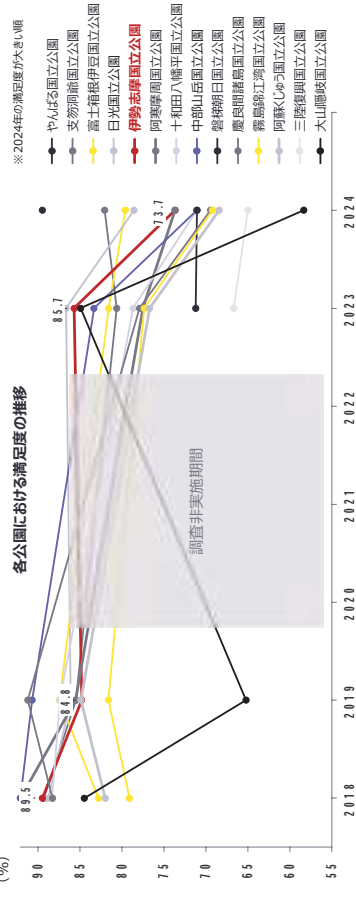


## 訪日外国人

### 対象公園全体における満足度の推移



### 各公園における満足度の推移

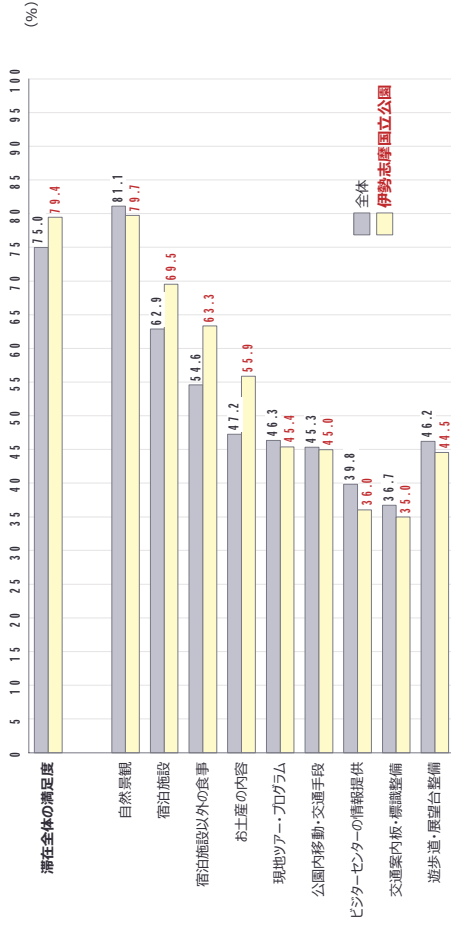


※2018~2019年調査と2022~2024年調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。

## Q13. 満足度 (項目別)

日本人

訪問中の各項目における満足度 (大変満足・満足と回答した方の割合)



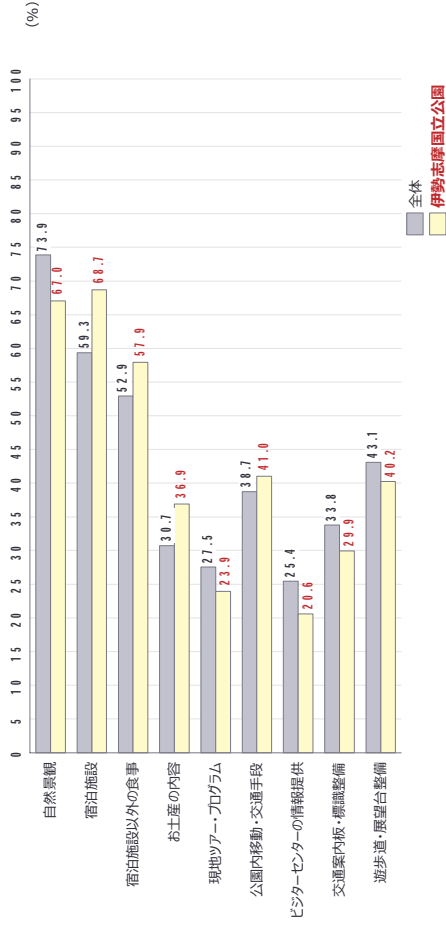
・満足度：Q13.「訪問中における各項目の満足度を教えてください。」における「大変満足」「満足」の割合 ※「該当無し」と回答した方は除いて集計

39

## Q14. 重要度 (項目別)

日本人

訪問中の各項目における重要度 (非常に重視する・重視すると回答した方の割合)



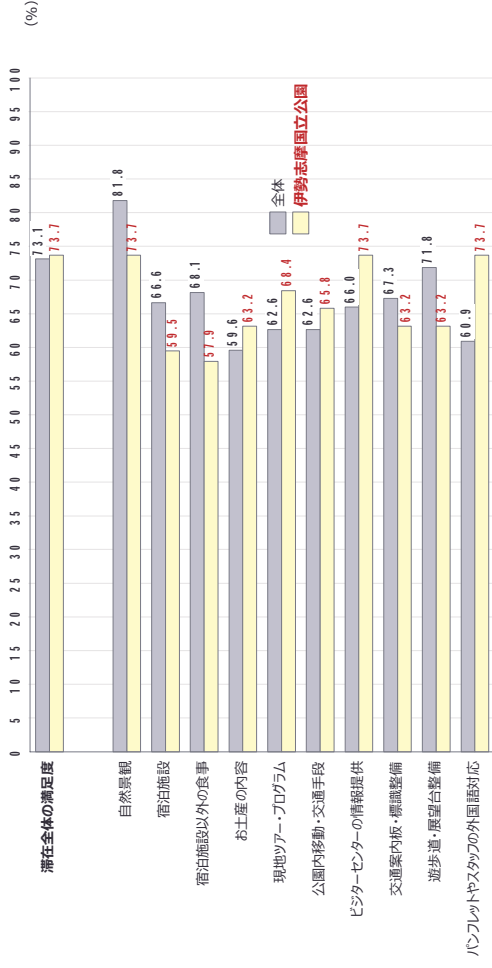
・重要度：Q14.「訪問中における各項目をどれくらい重視するかを教えてください。」における「非常に重視する」「重視する」の割合 ※「該当無し」と回答した方は除いて集計

41

## Q13. 満足度 (項目別)

訪日外国人

訪問中の各項目における満足度 (大変満足・満足と回答した方の割合)



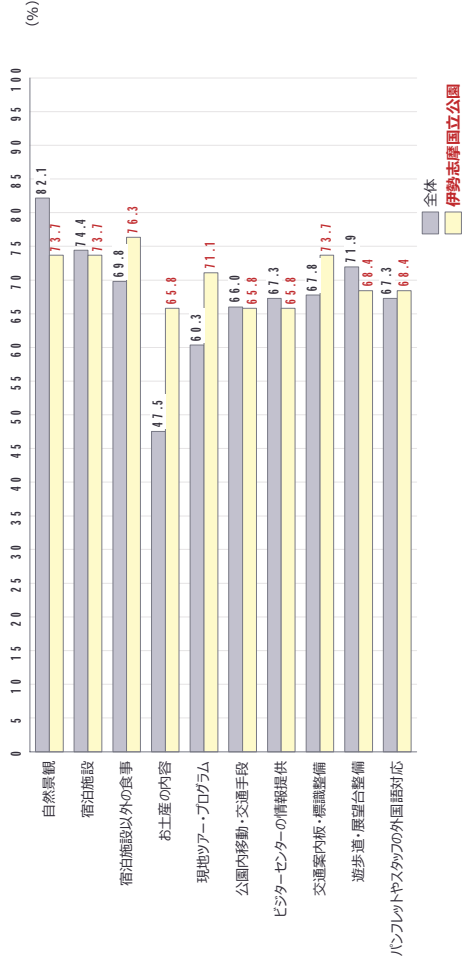
・満足度：Q13.「訪問中における各項目の満足度を教えてください。」における「大変満足」「満足」の割合 ※「該当無し」と回答した方は除いて集計

40

## Q14. 重要度 (項目別)

訪日外国人

訪問中の各項目における重要度 (非常に重視する・重視すると回答した方の割合)



・重要度：Q14.「訪問中における各項目をどれくらい重視するかを教えてください。」における「非常に重視する」「重視する」の割合 ※「該当無し」と回答した方は除いて集計

42



# Q15. 特に満足したこと / Q16. 改善要望

訪日外国人  伊勢志摩国立公園

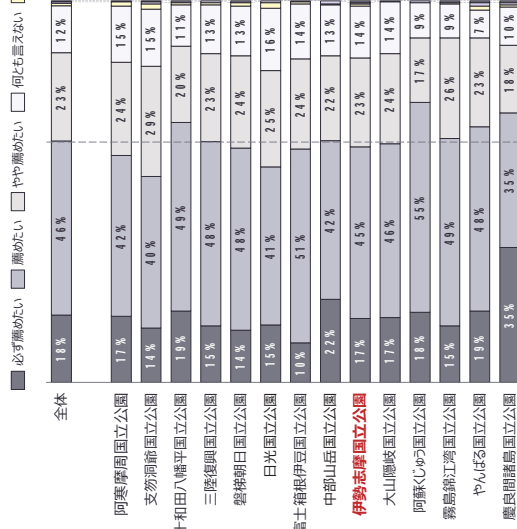
015 特に満足したこと	016 改善要望	国籍	性別	年代
自然の中の素晴らしい場所	嬉しいこと何もなく、素晴らしい体験でした	UK	男性	40~49歳
サービスの態度がとても満足できる	もう少し価格を下げてくれれば嬉しいです	UK	女性	30~39歳
とても美しい景観	写真のアップルがあまり良かった	Thailand	女性	30~39歳
自然、宿泊施設、食事、景色	サービス	Thailand	男性	40~49歳
滞在中に野生動物を見かけた。美しい自然景観。地元の良い食事を楽しんだ	特になし	Taiwan	男性	40~49歳
特になし	近くの店が少ない	Taiwan	男性	40~49歳
食べ物や景観が良かった	特になし	Taiwan	男性	30~39歳
そのほか子供が楽しかったように感じました	特になし	Taiwan	男性	50~59歳
味覚だけでなく良かった	なし	South Korea	女性	60~69歳
自然景観	やはり公共交通機関では難しいと感じました	South Korea	女性	18~29歳
親切で案内も良く、よく見えた	外国語対応	South Korea	女性	30~39歳
滞在後の食事	特になし	South Korea	男性	30~39歳
宿泊施設	価格に対する価値がない	South Korea	男性	50~59歳
美味しい食事と美しい自然景観、地元文化体験、個性豊かな宿泊施設	特になし	South Korea	男性	30~39歳
自然の森の木々や鹿	いえる、特になし	South Korea	男性	40~49歳
他の場所と比べて空気が新鮮で、木々が多かった	未舗装の道路で泥がつく	South Korea	男性	30~39歳
景色が良い。たくさん写真を撮り、自然に親むことができた	特になし	Hong Kong	男性	50~59歳
自然景観がとても良かった	交通があまり便利ではない	Hong Kong	女性	50~59歳
素晴らしい発見だったが、少し薄かった	何もない	Hong Kong	女性	18~29歳
又訪たい。ぜひサービスが特にお良かった	中文の標識が少ない	France	男性	30~39歳
密の原野のサービスが特にお良かった	中文の標識が少ない	China	女性	30~39歳
滞在中に英語を話すツアーガイドに満足しました	特になし	China	女性	30~39歳
		Canada	男性	40~49歳

※訪日外国人向け問題はサンプル数が少ないため、有効回答の全てを上記の表で一覧化

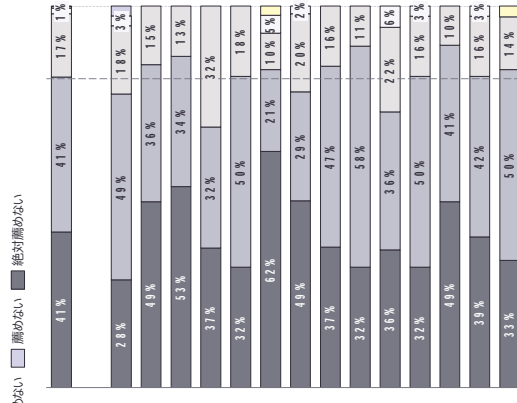
# Q17. 推奨意向

Q17. この地域への訪問を友人・知人に薦めたいですか。

日本人



訪日外国人



▲ 63%

▲ 81%

# Q17. 推奨意向

日本人



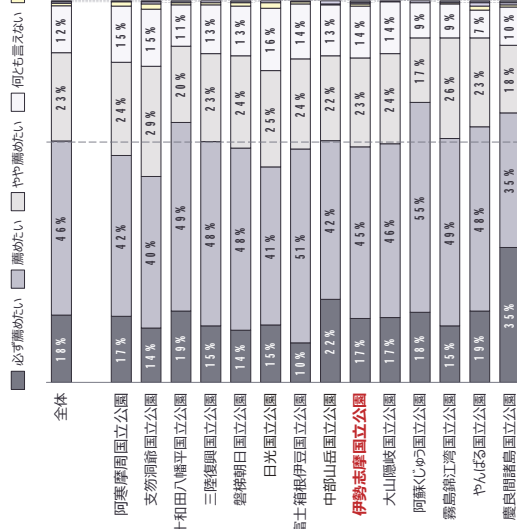
訪日外国人



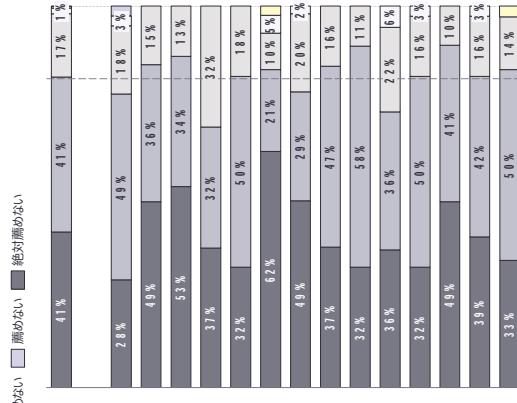
# Q17. 推奨意向

Q17. この地域への訪問を友人・知人に薦めたいですか。

日本人



訪日外国人



▲ 63%

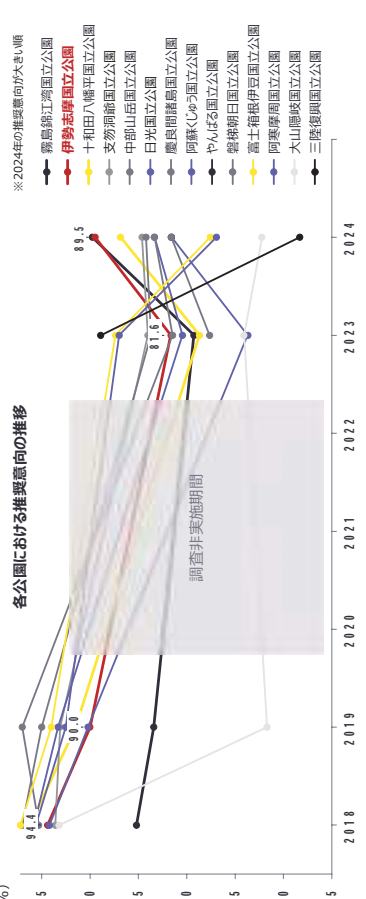
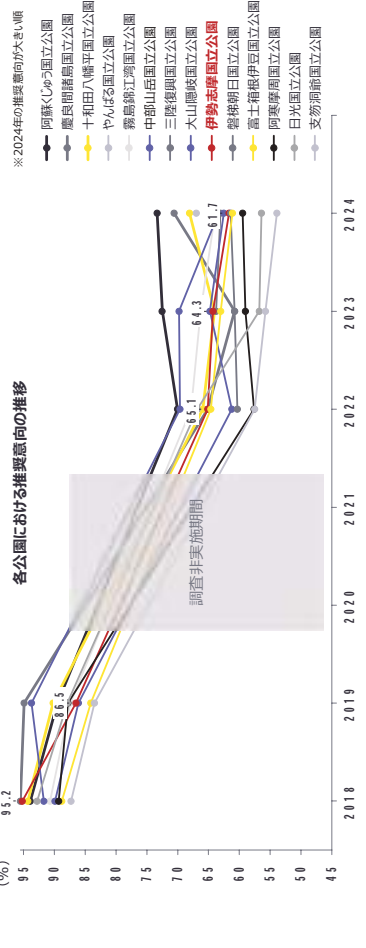
▲ 81%

# Q17. 推奨意向

日本人

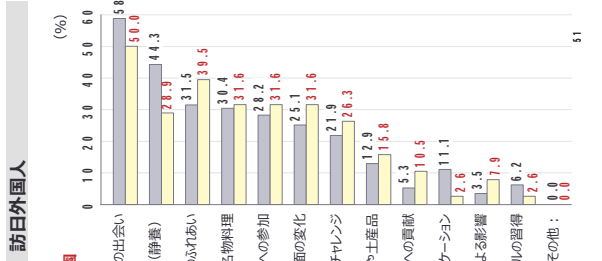
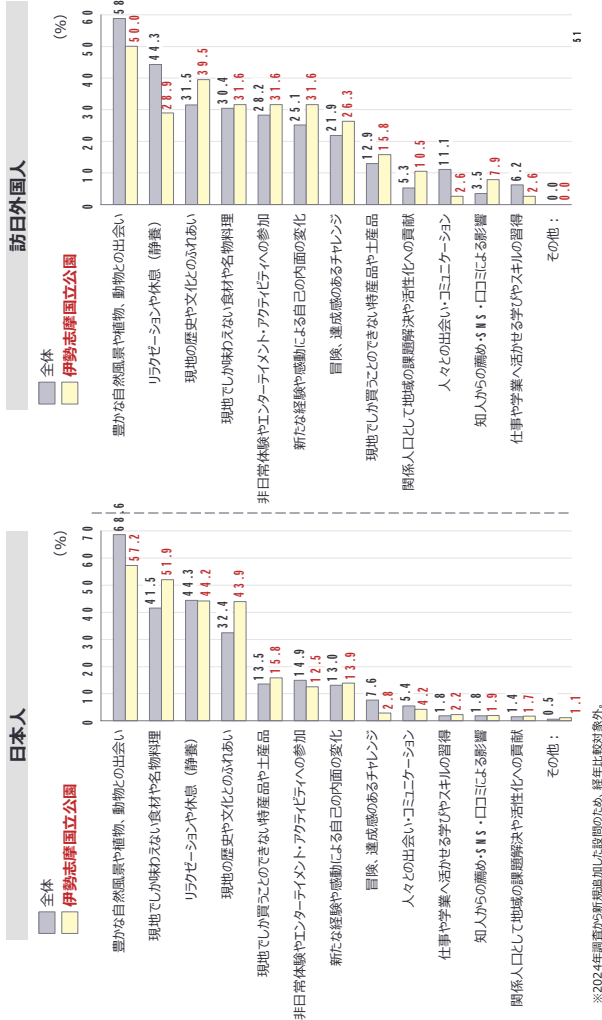


訪日外国人



## Q18. 旅行動機

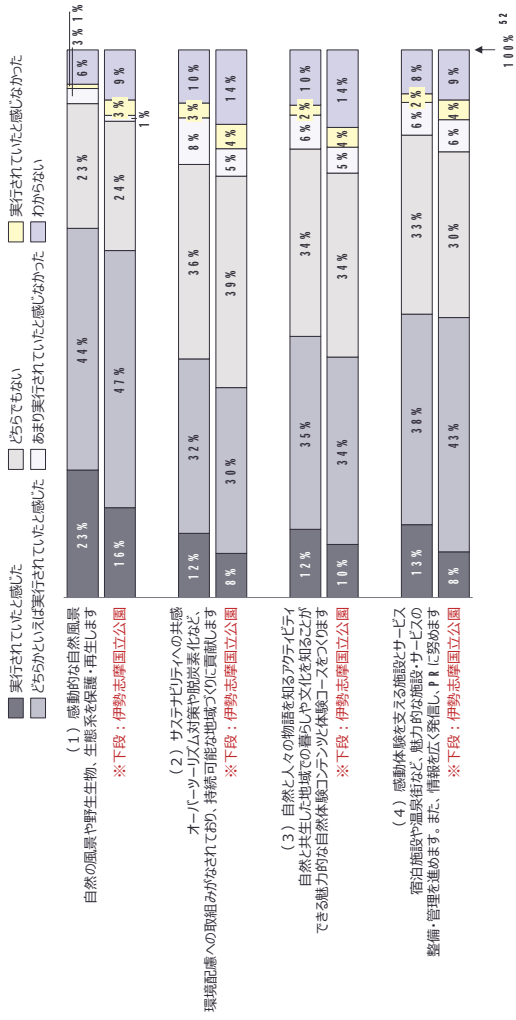
Q18. あなたが普段旅行したいと思う動機として、当てはまるものを「最大3つ」教えてください。(3つまで)



## Q19. ブランドプロモミスに対する評価

日本人

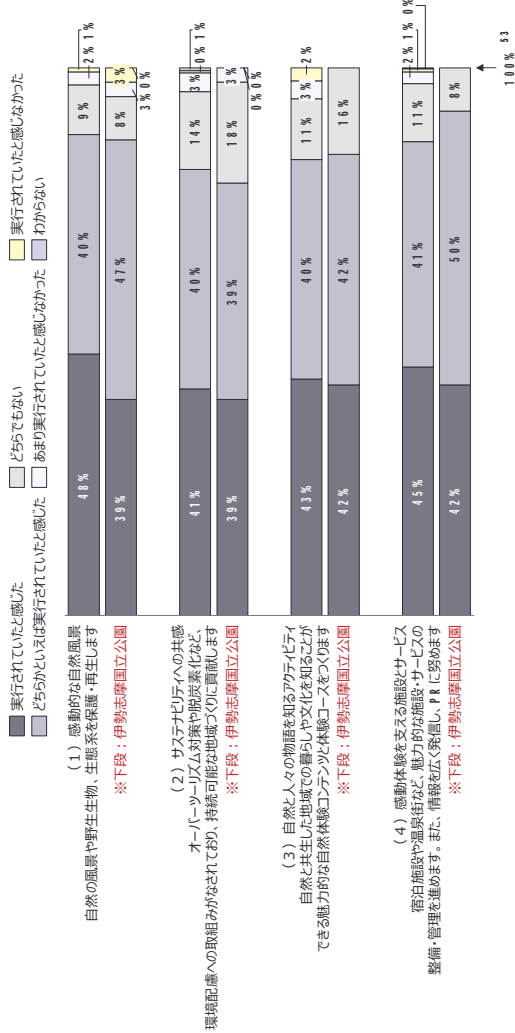
Q19. 日本の国立公園は、来訪者や地域の方々に対する約束ごととして、下記の4つのブランドプロモミスを定めています。4つのうち、あなたが訪れた国立公園において、約束が実行されていたと感じられたかどうかをお答えください。



## Q19. ブランドプロモミスに対する評価

訪日外国人

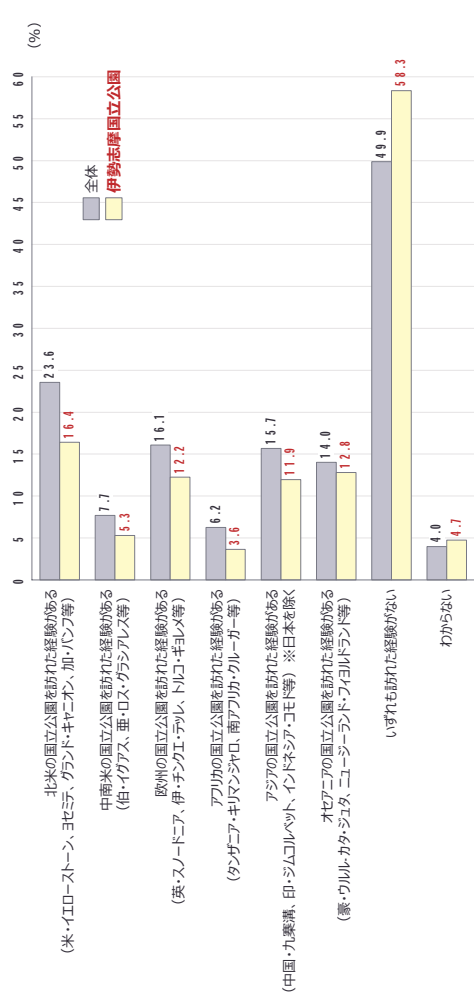
Q19. 日本の国立公園は、来訪者や地域の方々に対する約束ごととして、下記の4つのブランドプロモミスを定めています。4つのうち、あなたが訪れた国立公園において、約束が実行されていたと感じられたかどうかをお答えください。



## ※Q20. 世界各国の国立公園への来訪経験

日本人

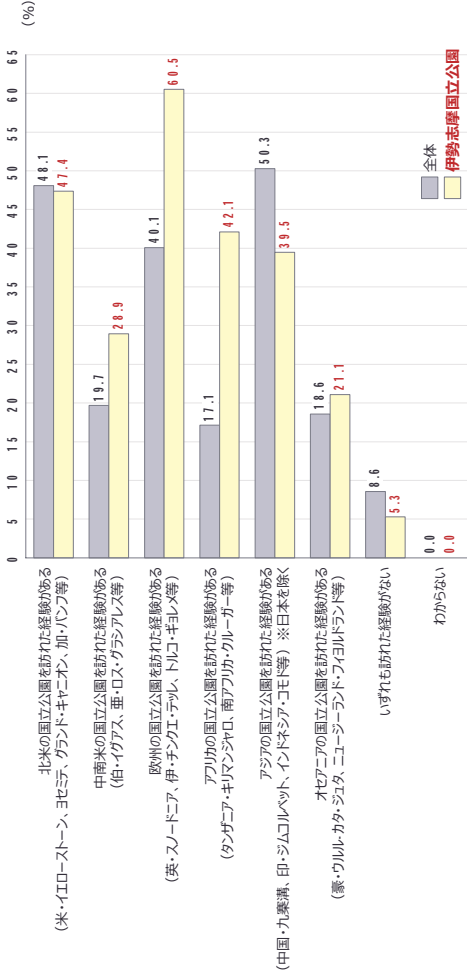
※Q20の予備調査として、世界各国の国立公園への来訪経験についてお答えください。(いくつでも)



## ※Q20. 世界各国の国立公園への来訪経験

訪日外国人

※Q20の予備調査として、世界各国の国立公園への来訪経験についてお答えください。(いくつでも)



※2024年調査から新規追加した設問のため、経年比較対象外。

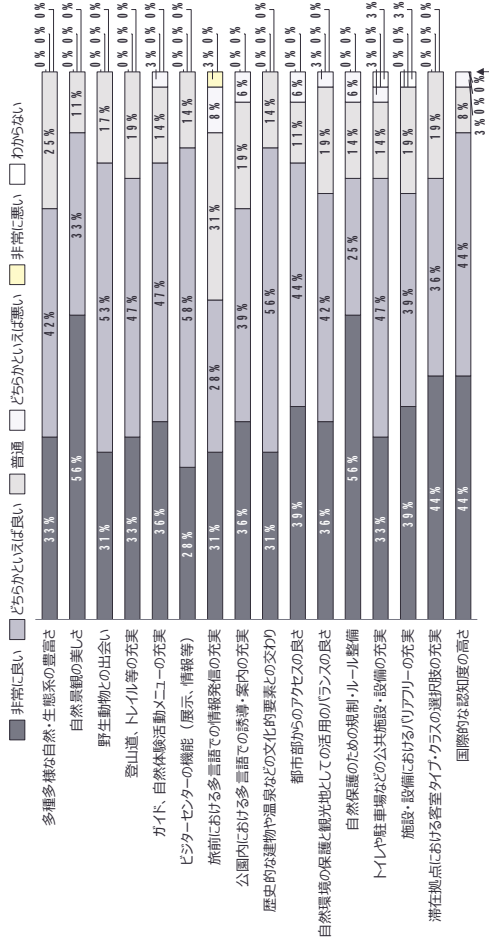
55

## Q20. 海外の国立公園と比較した日本の国立公園の印象

訪日外国人

伊勢志摩国立公園

Q20. 海外の国立公園と比較した際の、日本の国立公園の印象についてお答えください。



※2024年調査から新規追加した設問のため、経年比較対象外。

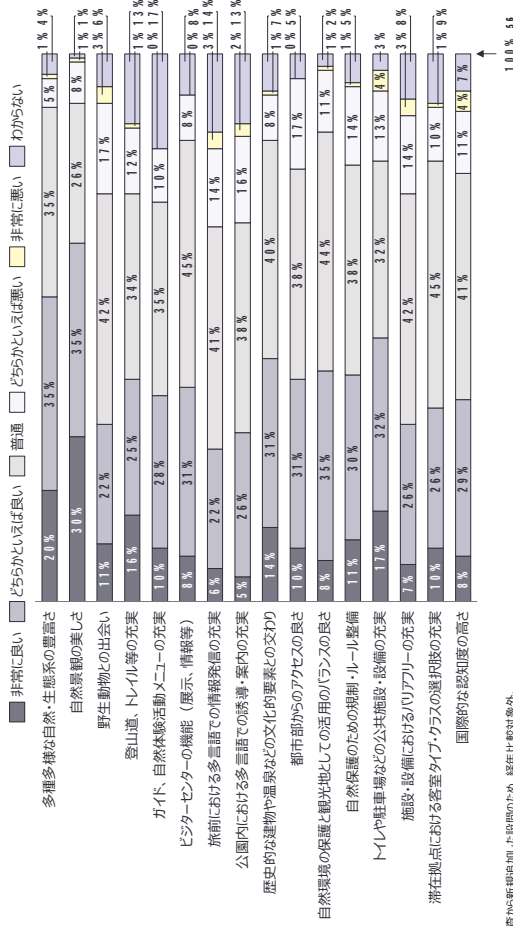
100% 57

## Q20. 海外の国立公園と比較した日本の国立公園の印象

日本人

伊勢志摩国立公園

Q20. 海外の国立公園と比較した際の、日本の国立公園の印象についてお答えください。



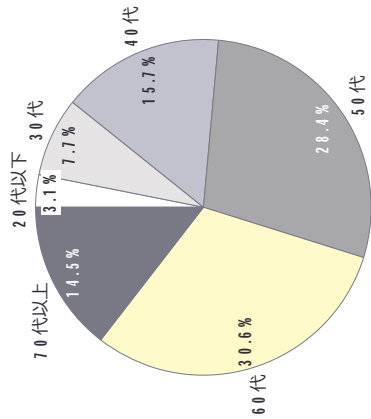
※2024年調査から新規追加した設問のため、経年比較対象外。

100% 56

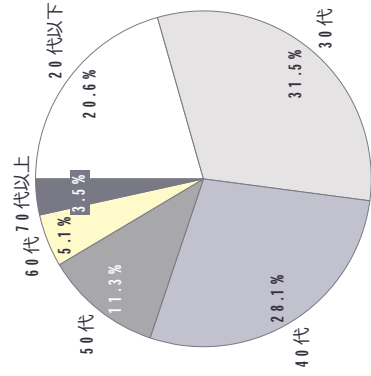
## 付録：回答者属性

## 付録：回答者属性（年齢）

日本人向け調査：年齢分布

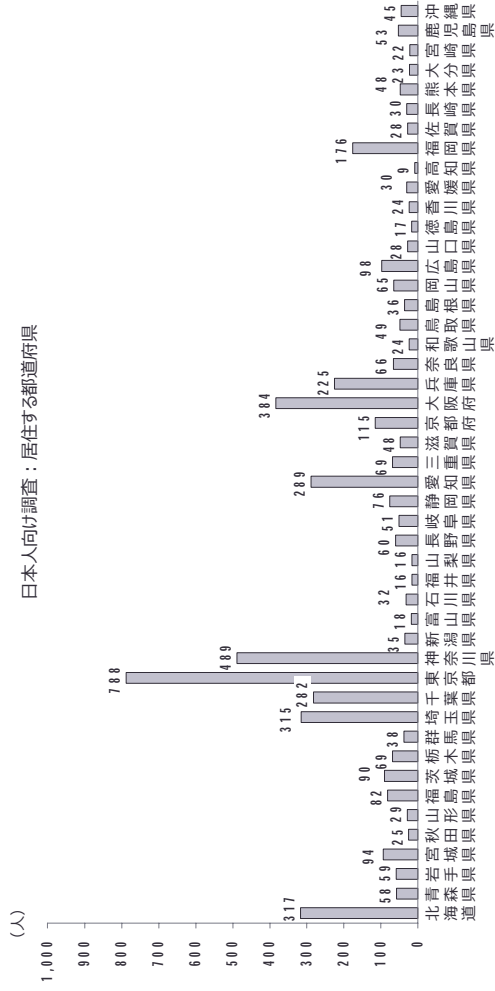


訪日外国人向け調査：年齢分布



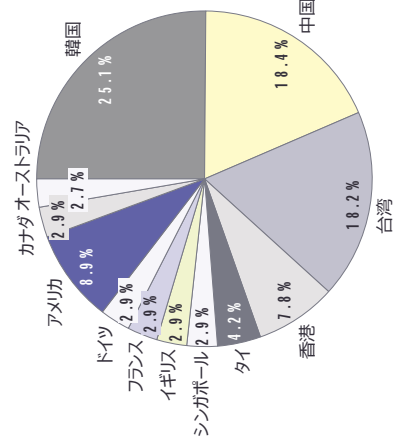
## 付録：回答者属性（日本人・居住地）

日本人向け調査：居住する都道府県



## 付録：回答者属性（訪日外国人・国籍）

訪日外国人向け調査：国籍分布



サンプル回収目標数と回収実績

国籍	回収数 (人)		回収割合 (%)	
	目標値	実績値	目標値	実績値
韓国	136	138	27.2%	25.1%
中国	91	101	18.2%	18.4%
台湾	91	100	18.2%	18.2%
香港	35	43	7.0%	7.8%
タイ	21	23	4.2%	4.2%
シンガポール	14	16	2.8%	2.9%
イギリス	14	16	2.8%	2.9%
フランス	14	16	2.8%	2.9%
ドイツ	14	16	2.8%	2.9%
アメリカ	42	49	8.4%	8.9%
カナダ	14	16	2.8%	2.9%
オーストラリア	14	15	2.8%	2.7%
合計	500	549	100%	100%

# 伊勢志摩国立公園ビジョン検討のための関係者・団体アンケート調査の結果報告

添付参考資料3

# 調査概要

## ■ 調査件名

伊勢志摩国立公園ビジョン検討のための関係者・団体アンケート調査

## ■ アンケート調査のねらい

- ① ビジョン検討に資するため、国立公園関係者の10～20年程度を振り返っての評価（現状の満足度）を明らかにする
- ② ビジョン検討に資するため、ビジョンに盛り込むべき要素として、国立公園関係者の思いを広く収集する

## ■ 設問

- ・伊勢志摩国立公園の自然資源、人文資源、観光施設、利用状況、地域の人の認知度等について10年前（2016年）～20年前（2006年）からの変化について
- ・いい結果が得られたと思う取組
- ・改善又は変化を期待する点、変えたくない又は未来へ引き継ぎたいものについて
- ・貢献可能なこと、その他ご意見など

2

# 調査概要

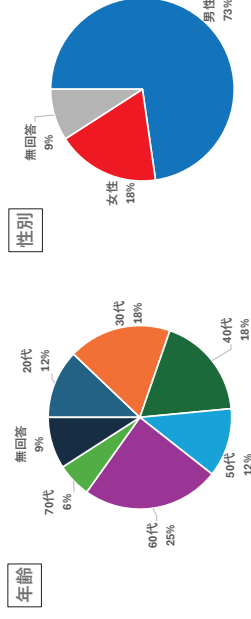
## ■ 調査実施期間

令和6年8月21日～

## ■ 調査数

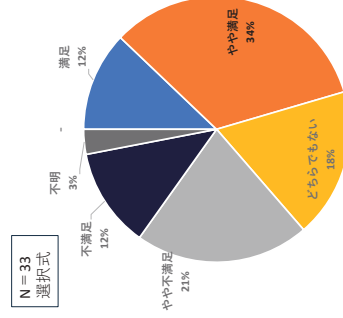
- ・・・回答33件（2024.9.24時点）
  - ・伊勢志摩国立公園地域協議会構成員
  - ・伊勢志摩国立公園地域協議会アドバイザー
- ※複数名回答可（ご協力ありがとうございます）

## ■ 回答者属性



3

# 自然資源の状態



自然資源の例：

リアス海岸、自然海岸（砂浜・磯・干潟）、海、島、常緑広葉樹林、動植物、温泉、星空、気候など

4

## 《過去の10年、20年の振り返りについて》

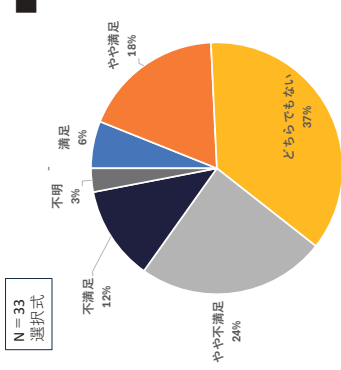
伊勢志摩国立公園の自然資源、人文資源、観光施設、その利用状況、地域の人の認知度等について、10年前（2016年）～20年前（2006年）からの変化を踏まえ、該当する選択肢を選んでください。また、その理由を教えてください。

## ■ 主な意見（一部抜粋）

- **満足、やや満足**
  - ・景観や動植物など守るべき資源は一定水準の維持ができている。
  - ・展望台の整備や自然資源を活かした取り組みなどは当時より進められている
  - ・伊勢神宮を中心とした自然環境が守られている。
- **不満足、やや不満足**
  - ・太陽光発電施設の乱立（緑の色の山が失われ、海への土砂の流入など）
  - ・磯焼けで海藻・海草が減少して生物多様性が失われ、漁業、海女漁に影響
  - ・干潟の減少の話、漁獲量の減少などの話をよく耳にするようになった

5

# 人文資源の状態

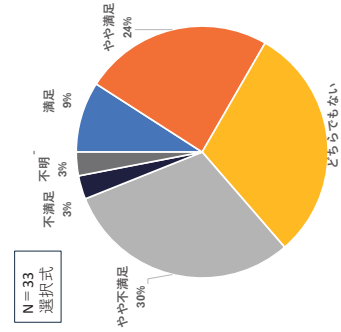


人文資源の例：  
里海（沿岸海域）、里地里山（集落周辺）、集落景観、祭り、風習、食、産業、社寺等文化的建造物など

## 主な意見（一部抜粋）

- **満足、やや満足**
- 言はなんでもなものとされて雑に扱われていた景観でも、昨今では大切なものとしてきちんと**選**して**いけるような意識**が生まれていると思う。
- **ワーケーションの利用**が進み、地域の人と地域外の人の交流が増えた。
- **不満足、やや不満足**
- **祭りや風習、地域産業は人口減少**により維持が難しくなっている。
- 人口減少により、**里山の保全**が心配。
- **海女の数が減少**している。神島のゲーター祭り、坂手の棒練り、加茂五郷の盆祭礼など地域を代表する**祭りが無くなった**。海洋環境の影響からカキの閉塞死が増えて、**カキ養殖業者が減少**している。**真珠養殖業者も減少**している。

# 観光施設・宿泊施設等

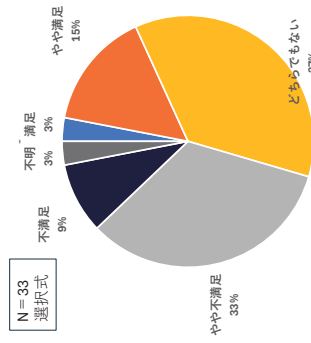


観光施設・宿泊施設等の例：  
案内施設、歩道、園地、宿泊施設、休憩施設、ビジターセンター、水族館、博物館、レジャー施設など

## 主な意見（一部抜粋）

- **満足、やや満足**
- 富裕層向けのリゾートやビジネスホテル、ゲストハウスや民泊などの進出もあり、**利用者の選択肢は増えた**。観光施設は着地型ツアーや海女小屋体験施設など個人や小グループでも参加しやすいメニューも出てきた。
- 伊勢志摩管内における宿泊施設の**バリアフリー**が飛躍的に増えている
- **不満足、やや不満足**
- **施設の老朽化やインバウンドの取り組み**への対応は十分とは言えない。
- 宿泊施設では、特に小規模施設において**後継者問題などから施設数が減少**している。
- 自然環境や景観にマッチした建物を作る発想が弱い。
- **高級志向**もあり、昔のような安く泊まれる民宿や公共の宿泊所が少なくなっている。

# 運輸交通関係

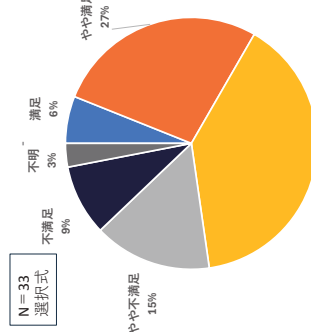


観光施設・宿泊施設等の例：  
JR、近鉄、バス路線、高速道路、伊勢志摩スカイライン、パルロード、大型クルーズ船など

## 主な意見（一部抜粋）

- **満足、やや満足**
- GWや年末年始など多くの観光客がくる時期に神宮周辺に**パーク&バスライド**を実施し、渋滞が緩和された。また、限定的ではあるが、駅近くに**シェアリングステーション**も設置され、観光しやすくなった。
- **パーク&バスライド（伊勢）、パーク&シップライド（鳥羽）**はとてもいいシステムである。
- **不満足、やや不満足**
- 車社会やコロナ禍を経て公共交通機関に乗らない人が増え、**路線や本数が年々減少**している。新幹線も全線として交通の便が悪い。飛行機、新幹線もなく、人口の多い**関東圏からのアクセスが悪い**。志摩市で進めているライドシェアなどに期待。
- **タクシー**に関しては、時間帯により**台数不足**も問題になっている。特に夜間。

# 自然・文化資源の利用状況



利用状況の例：  
地域への来訪者数、来訪者の属性、自然・文化体験活動の実施状況、来訪者の満足度

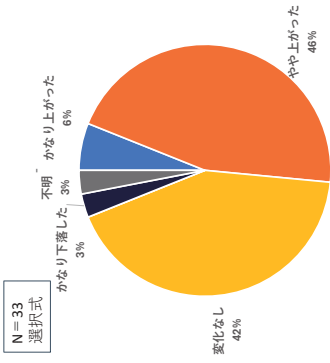
## 主な意見（一部抜粋）

- **満足、やや満足**
- 来訪者が地域の**自然・文化体験**できるところが増えた。
- **横山展望台デッキの改修工事やカフェの併設**により、以前よりも観光客が増えた。以前と比較し、自然を眺望する人口が増えたと感じる。
- 自然や文化資源を活かした**体験（エコツアーズ）の受け入れ**人数は20年前から4倍で、実施本数は10倍以上になっている。
- **不満足、やや不満足**
- 多くの素晴らしい自然・文化資源が伊勢志摩にはあるが、そこに住む住人でさえもそのような資源がありそれを**どう活用してよいかかわからない**のが現状だと思います。
- 利用状況の前に、こうした自然・文化資源の**PR、告知が圧倒的に足らない**。

# 地域の伊勢志摩国立公園に対する認知度の向上

## ■主な意見（一部抜粋）

- かなり上がった、やや上がった  
観光関係者や漁業者から「伊勢志摩国立公園」という言葉をよく耳にすることが増えた。
- 自然環境の保全や活用など観光事業者や漁業者などの意識は高まったように感じる。
- 2018年に横山展望台がオープンしたことでの情報発信で認知度が上がっている。



地域の人の認知度の例：  
国立公園であるという認識があるか、国立公園を価値あるものとして認識しているか、国立公園を価値あるものとして利用・活用しているか、国立公園の価値を高める活動をしているか、持続可能な取り組みをしているか

## ●変化なし、かなり下落した

- 地域の人の人にとっては、素晴らしい景色や食材が当たり前のものとなっている気がする。それに価値があることを再認識し、どうやって魅力を発信していくか議論する必要があると思う。
- 観光客からしても、国立公園に遊びに来ているという意識はあまりないと思う。おはらい町・おかげ横丁、水族館、テーマパークなど国立公園に遠いレジャー施設も多いため、仕方ない。このようなレジャー施設からも国立公園が意識されるような仕組みがとれるといい。

# 伊勢志摩国立公園に関する課題や取組

(一部紹介)

## 課題への対応（一部紹介）

- **運輸交通関係**
  - **パーク&バスライド（伊勢）、パーク&シップライド（鳥羽）** による渋滞緩和
  - **観光特急しまかぜやまわりゃんせ**（近鉄電車で4日間伊勢志摩エリアの観光スポットをお得に巡るまっぷ）の導入。
  - 限定的ではあるが、駅近くに**シェアリングステーション**を設置。

## ■自然文化資源の利用状況

- 伊勢志摩の自然を楽しめる**アクティビティ施設やグランピング施設**が増え、お子どもたちにとって勉強になるような**自然や伝統文化の体験ツアー**が増えている。

→全ての課題をすぐに解決することは難しいが、伊勢志摩国立公園地域内での取組は多数

# 伊勢志摩国立公園に関する課題

(一部紹介)

## 課題（一部紹介）

### ■自然資源・人文資源の課題

- 主に**磯焼け**、**温暖化等**による海の環境の悪化。
- 高齢化**や**後継者問題**、**コロナの影響等**による**伝統的文化**（祭り、海女文化等）の廃れ

### ■観光施設・宿泊施設等、運輸交通関係の課題

- 事業者の高年齢化**に伴う受け入れ態勢の不備
- 公園内の周遊に関しては、全体的に**2次交通が不足**しており、来訪者は**タクシーやレンタカー**などを利用する必要がある。

### ■自然・文化資源の利用状況、認知度の向上の課題

- 来訪者に対して**自然・文化資源を楽しんでもらう意識**がまだ弱く、地域の住人でさえまだ**伊勢志摩国立公園の価値**について知らないのではないかと。

# 伊勢志摩地域で実施されたい結果が得られたと思う取組

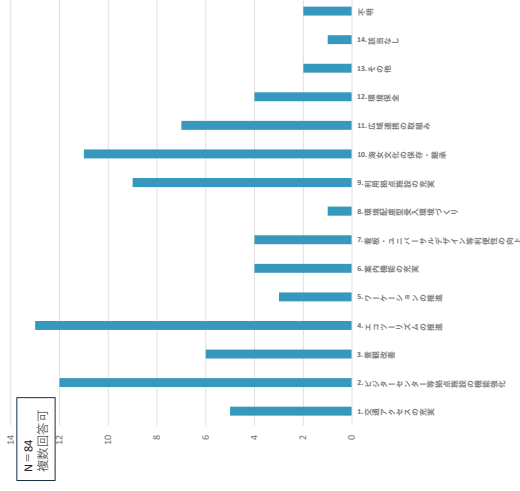
## ■上位3つの取り組みについて

- **ビジターセンター**
- **エコツーリズムの推進**
- **海女文化**



### 【具体的な取組例】

- 横山展望台、横山ビジターセンター
- 鳥羽市エコツーリズム推進協議会や伊勢志摩国立公園協会などによりエコツーリズムの推進や自然体験の充実。
- 鳥羽市立海の博物館の敷地内に、2019年に三重大学海女研究センターが設置



## 伊勢志摩地域で実施されたい結果が得られたと思う取組

### ●その他取組

- 海女サミットの継続開催
- 白滝大明神の活用
- 南伊勢町の展望台付近のブランコ整備
- 伊勢志摩サミット（国内外に伊勢志摩の情報が発信され、認知いただけ機会となった）
- ゴルフ場の利活用
- 多目的トイレの整備
- 情報発信
- 答志島トロさわらのブランド化
- ワークেশヨンの推進→宿泊事業者の若い労働力確保に貢献している。
- 観光特急しまかぜの導入。
- YoutuberやVtuberなどSNSを活用とした東京地域からの観光客の誘致（ex.志摩スペイン村、志摩地中海村等）

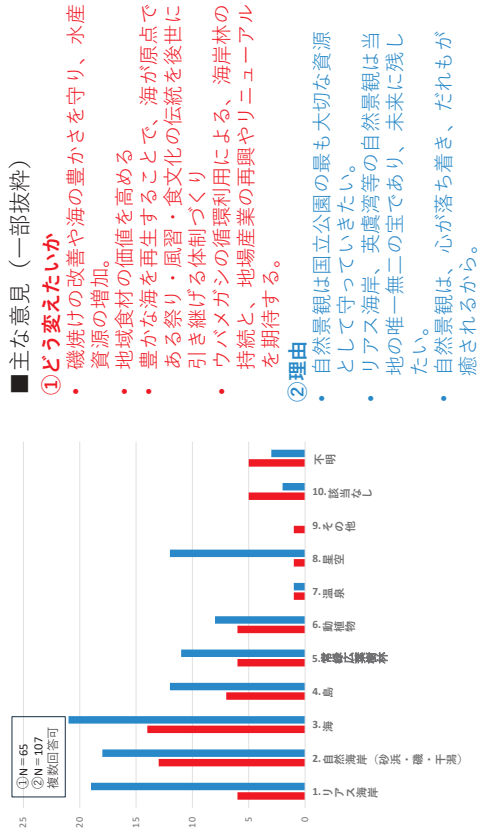
## 《伊勢志摩国立公園のビジョンについて》

10年後（2036年）や20年後（2046年）の伊勢志摩地域を想像してください。

- ①あなた自身が組織や肩書きに関係なく伊勢志摩地域にかかわる一人として考えている、**10年後、20年後までに改善又は変化を期待する点**
- ②あなた自身が組織や肩書きに関係なく伊勢志摩地域にかかわる一人として考えている、**10年後、20年後までに変えたくない点、未来へ引き継ぎたいもの**

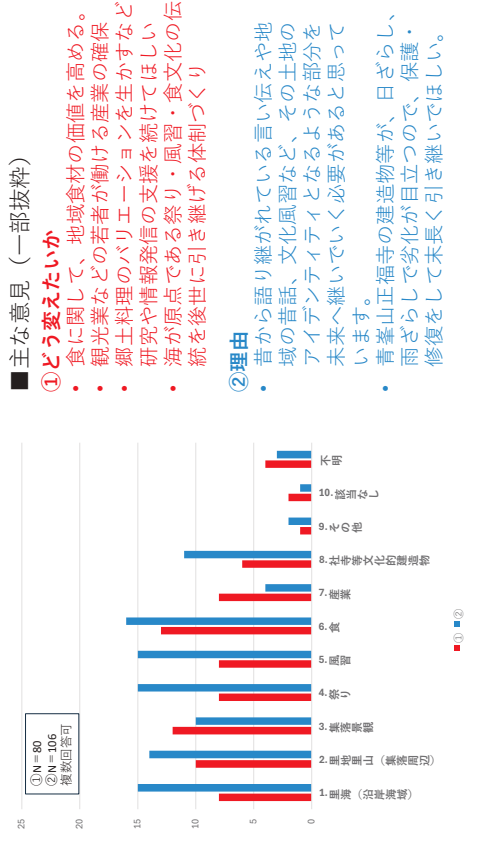
## 自然資源

- ①10年後、20年後までに改善又は変化を期待する点
- ②10年後、20年後までに変えたくない点、未来へ引き継ぎたいもの



## 人文資源

- ①10年後、20年後までに改善又は変化を期待する点
- ②10年後、20年後までに変えたくない点、未来へ引き継ぎたいもの



## 宿泊施設・受入施設等

- ①10年後、20年後までに改善又は変化を期待する点
- ②10年後、20年後までに変えたくない点、未来へ引き継ぎたいもの

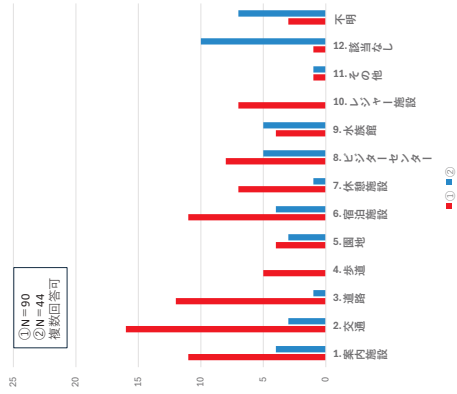
### ■主な意見（一部抜粋）

#### ①どう変えたいか

- ・ 菅島の大山に展望台を作る。
- ・ ビジターセンターにおいて案内機能や情報を充実させる。
- ・ 横山展望台の渋滞
- ・ 自転車でのツーリングが誘致され増えている。それ自体は歓迎だが、ルートが本当に適切かを含めて検討・対処してほしい。

#### ②理由

- ・ 個人的には鳥羽市の日和山の遊歩道や安楽島海水浴場をよく利用し、気持ちも体も癒やされている。地元の人も観光客も海や森に気軽にアクセスできる場所は、なくしてはいけないと思う。
- ・ 景色や鳥羽の海産物が堪能できる宿泊施設は残したい



## 地域の人の認知度

- ①10年後、20年後までに改善又は変化を期待する点
- ②10年後、20年後までに変えたくない点、未来へ引き継ぎたいもの

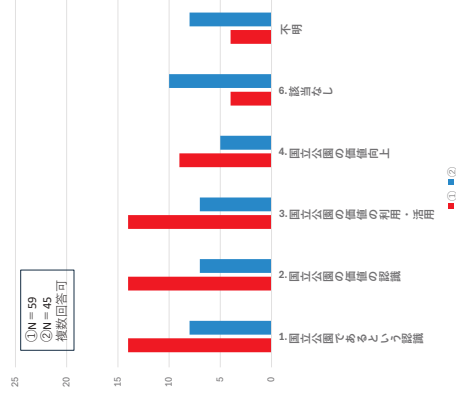
### ■主な意見（一部抜粋）

#### ①どう変えたいか

- ・ 地元の子供たちが地域の自然で遊ぶ機会を増やす工夫。
- ・ 駅構内や交通の拠点に「ここは伊勢志摩国立公園」などの表示があってもよい。
- ・ 住みたい、訪れたい地域にすることで交流人口を増やし、少子高齢化対策や雇用機会の創出を図りたい。
- ・ 小学・中学・高校生に国立公園の地域学習を積極的に行うよう県や市町に要望したい。

#### ②理由

- ・ インナープロモーションを充実させて、子どもたちからしっかり国立公園の価値や必要性を伝えていきたい。
- ・ 伊勢志摩はどの地域より自然・文化が大事に守られている。「伊勢志摩に住んでいてよかった」と思える地域である」



## 利用状況

- ①10年後、20年後までに改善又は変化を期待する点
- ②10年後、20年後までに変えたくない点、未来へ引き継ぎたいもの

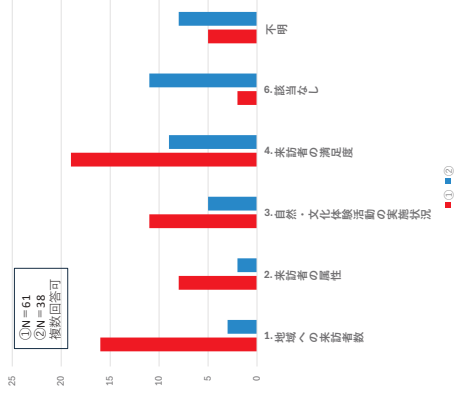
### ■主な意見（一部抜粋）

#### ①どう変えたいか

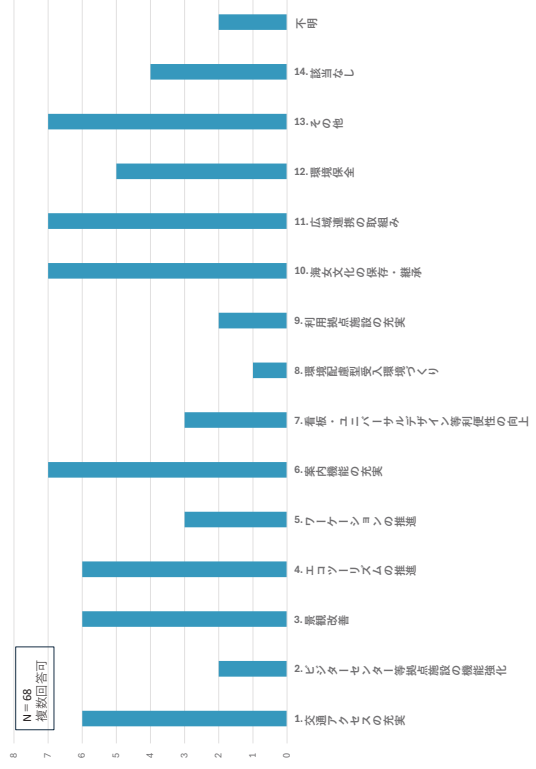
- ・ オナーツーリズムを考慮したインバンド旅行者の受入環境整備。
- ・ 2次交通や案内所の充実を図り、来訪者の利便性の向上。
- ・ インバンドが再び活気づいてきたが、まだ地域のポテンシャルに見合った来訪者の数ではなく、伸びしろがあると思う。
- ・ 宿泊者を増加させるために、レジャー施設と宿泊施設の連携の強化に期待をする。

#### ②理由

- ・ 修学旅行や遠足でよく利用されていることは、国立公園としての役割の一つを果たしていると思うので、続いてほしい。



## 個人・所属する組織で貢献可能なこと



■ 具体的な取り組みについて（一部抜粋）

1. 交通アクセスの充実  
→ 広域の為、民間レベルで全ての地域のアクセス充実には困難。あらゆる面での国、県、市町村からの支援が不可欠。利用上状況や来訪者の動向を注視しながらのダイヤや編成、車両タイプの（大小）選別など、固定観念にとらわれず柔軟かつ敏速な対応が必要。
3. 景観改善→木製ガードレールの導入等
5. ワークেশョンの推進→グループ会社のホテル、旅館でのワークショッププランの増設や推進。
6. 案内機能の充実  
→ 印刷物の配置、窓口案内の充実を図る。ポランティアガイド等による神宮文化の伝達。
7. 看板・ユニバーサルデザイン等利便性の向上→インバウンドに対応した多言語看板の設置。
10. 海女文化の保存継承  
→ 鳥羽市景観計画に位置付けた取り組みの一環として、賛同の得られた海女集落を対象にして、伝統的な集落景観の保全継承のために景観計画に基づく重点地区へ、さらに文化的景観の指定に向けて尽力する予定。  
→ 国立公園関連の発行物やウェブサイトで発信。
11. 広域連携の取り組み→伊勢志摩国立公園指定周年事業を継続させる。
12. 環境保全→環境保全活動に参加する。

■ 伊勢志摩地域の現状に満足している割合は少数

- ✓ 課題が多数あるが、具体策が難しいものもある、、、
- 一方、伊勢志摩地域で実施されいい結果が得られた取組も多数あり、伊勢志摩地域で改善したいことや、未来へ引き継ぎたいものの多くは、地域の共通認識
- 上記達成するための、伊勢志摩国立公園地域での取り組みは、各組織・個人で貢献可能なことは多数実施（予定）されている
- 伊勢志摩国立公園指定80周年（2026年）を目標に、地域住民や観光関係者に、国立公園の歴史と価値を再確認してもらう。
- そのために、ビジョンを検討・作成し、それを実現する意思を持つ人を増やす必要がある。